

# 日本アイソトープ協会の学術活動

令和7（2025）年度

発行 公益社団法人 日本アイソトープ協会

## 目 次

1. 会員	1
1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）	1
1.2 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）	1
1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）	1
2. 部会・委員会	2
2.1 理工・ライフサイエンス部会	2
2.1.1 概要	2
2.1.2 第4期理工・ライフサイエンス部会の構成	2
2.2 医学・薬学部会	4
2.2.1 概要	4
2.2.2 第30期医学・薬学部会の構成	4
2.3 放射線安全取扱部会	7
2.3.1 概要	7
2.3.2 第33期放射線安全取扱部会の構成	7
2.4 その他の委員会	10
2.5 講演会・見学会等	11
2.5.1 理工・ライフサイエンス部会	11
2.5.2 放射線安全取扱部会	11
3. 第62回アイソトープ・放射線研究発表会	13
4. 講習会	14
4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習	14
4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習	14
4.1.2 第2種放射線取扱主任者講習	14
4.1.3 第3種放射線取扱主任者講習	15
4.1.4 放射線取扱主任者定期講習	16
4.1.5 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習	17
4.2 法定の教育訓練講習会等	17
4.2.1 放射線取扱業務従事者のための教育訓練講習会	17
4.3 その他の講習会	18
4.3.1 アイソトープ基礎技術入門講習会	18
4.3.2 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会	18
4.3.3 ラジオアイソトープ安全取扱講習会	18
4.3.4 密封線源安全取扱講習会	19
4.3.5 核医学看護のための放射線安全セミナー	19
4.3.6 アイソトープ内用療法講習会	19
4.3.7 密封小線源治療安全取扱講習会	20
5. 図書等の発行	21
5.1 機関誌	21
5.1.1 Isotope News	21
5.1.2 RADIOISOTOPES	21
5.2 出版物等	21

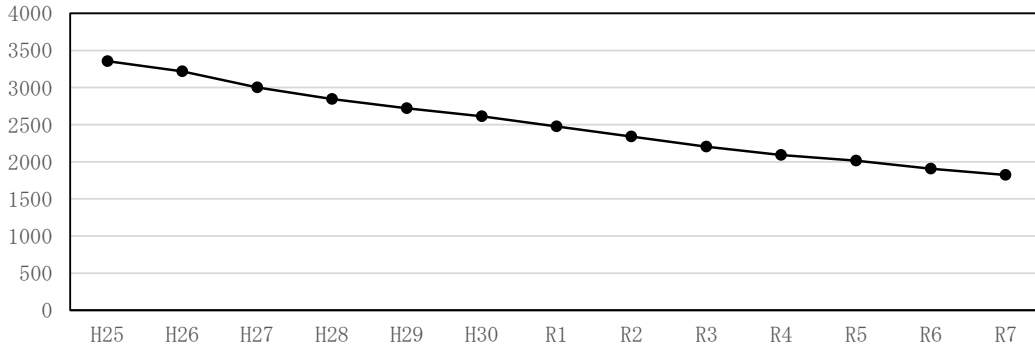
6. 委託調査研究の受託実施等	21
6.1 官公庁等委託事業	21
7. 普及・啓発	22
7.1 第6回（2025年）日本アイソトープ協会奨励賞	22
7.2 第29回（2025年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞	22
7.3 第62回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞	22
7.4 第62回アイソトープ・放射線研究発表会 ポスター賞	22
7.5 令和7年度放射線安全管理功労・環境放射能対策功労表彰	22
7.6 放射線教育に係る普及啓発活動	22
7.7 放射線による医療をテーマとした市民向け講演会	22
7.8 日本アイソトープ協会シンポジウム	23
7.9 武見記念館	23
7.10 その他の啓発活動	23
資料 部会活動の経過及び成果公表資料	24
1. 理工・ライフサイエンス部会	24
2. 医学・薬学部会	34
3. 放射線安全取扱部会	44

# 1. 会員

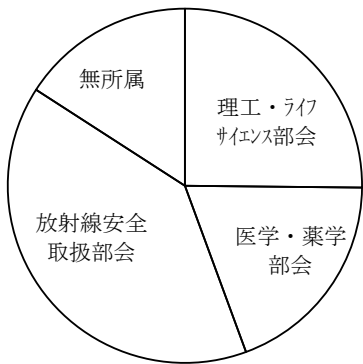
## 1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）（各年度3月末日現在）

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
個人正会員	2,693	2,538	2,330	2,177	2,051	1,926	1,786	1,654	1,530	1,415	1,330	1,227	1,159
団体正会員	217	217	210	204	200	197	192	190	186	176	173	169	163
特別会員	402	419	402	400	405	425	435	449	452	471	484	484	473
賛助会員	26	26	24	24	24	23	22	22	22	22	22	22	22
学生会員	17	19	35	38	39	42	42	25	13	8	4	3	5
計	3,355	3,219	3,001	2,843	2,719	2,613	2,477	2,340	2,203	2,092	2,013	1,905	1,822

会員数の推移（団体、賛助、特別、学生会員含む）



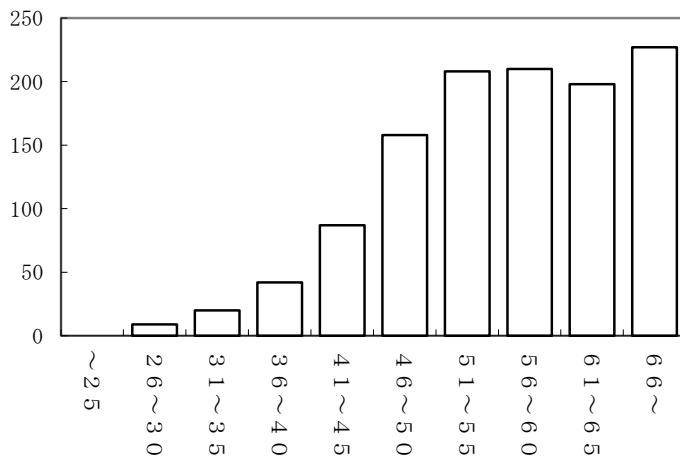
## 1.2 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）（令和8年3月末日現在）



理工・ライフサイエンス部会	729
医学・薬学部会	557
放射線安全取扱部会	1,151
無所属	460
延 計	2,897

（注）会員は複数の部会に所属できる

## 1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）（令和8年3月末日現在）



## 2. 部会・委員会

### 2.1 理工・ライフサイエンス部会

#### 2.1.1 概要

理工・ライフサイエンス部会では、科学技術の振興と国民生活の向上に寄与するため、アイソトープ・放射線の利用促進や普及啓発、次世代の研究者および技術者の育成に関わる活動などを実施しています。

#### 2.1.2 第4期理工・ライフサイエンス部会（任期：2024年4月～2026年3月）の構成

##### 常任委員会

理工学、ライフサイエンスの両分野におけるアイソトープ・放射線の利用を促進し、科学技術の発展に寄与するため、本部会細則に定める所要の活動を行う。

部会長	羽場 宏光	理化学研究所 仁科加速器科学研究センター
副部会長	石岡 典子	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
常任委員	飯田 崇史	筑波大学 数理物質系
	岡 壽崇	日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究センター
	片岡 憲昭	東京都立産業技術研究センター
	清野 泰	福井大学 高エネルギー医学研究センター
	柿崎 竹彦	北里大学 獣医学部
	黒澤 俊介	東京大学 大学院工学系研究科
	坂口 綾	筑波大学 数理物質系
	佐藤 泰	産業技術総合研究所
	志田原 美保	東北大学 大学院工学研究科
	杉田 亮平	名古屋大学 アイソトープ総合センター
	塚田 祥文	福島大学 環境放射能研究所
	二宮 和彦	広島大学 自然科学研究支援開発センター
	平山 亮一	量子科学技術研究開発機構 QST病院
	福田 光宏	大阪大学 核物理研究センター
	藤浪 真紀	上智大学 理工学部
	前山 拓哉	理化学研究所 仁科加速器科学研究センター
	保田 浩志	広島大学 原爆放射線医科学研究所
	山田 崇裕	近畿大学 原子力研究所
	山谷 泰賀	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	渡辺 賢一	九州大学 大学院工学研究院

##### 常任委員会 日本アイソトープ協会シンポジウム検討ワーキンググループ

2025年度日本アイソトープ協会シンポジウムの円滑な運営に資するため、プログラムの編成及び開催に必要な事項を行う。

主査	二宮 和彦	広島大学 自然科学研究支援開発センター
委員	片岡 憲昭	東京都立産業技術研究センター
	坂口 綾	筑波大学 数理物質系
	杉田 亮平	名古屋大学 アイソトープ総合センター

##### RI動画教育推進専門委員会

RI利用に必要で実技を伴う項目を、利用者のニーズをもとに検討し、その実技を動画として公開することを目標とする。

委員長	藤浪 真紀	上智大学 理工学部
委員	加藤 結花	アロカ (株)
	桧垣 正吾	東京大学アイソトープ総合センター
	平木 仁史	駒澤大学 医療健康科学部
	赤堀 省吾	(公社) 日本アイソトープ協会
	浅野 夏海	(公社) 日本アイソトープ協会
	八木 明日香	(公社) 日本アイソトープ協会

RI利用推進専門委員会

科学における幅広い分野でのRI利用の普及促進をめざし、一般に流通可能なRIのみならず国内の研究  
所・大学等の施設で製造可能なRIの利用拡大に向けた取り組みを行う。

委員長	山田 崇裕	近畿大学 原子力研究所
委員	小林 奈通子	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	永津 弘太郎	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	福田 光宏	大阪大学 核物理研究センター
	間賀田 泰寛	浜松医科大学 光医学総合研究所
	羽場 宏光	理化学研究所 仁科加速器科学研究センター
	鷲山 幸信	福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
	渡辺 茂樹	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
	渡部 浩司	東北大学 先端量子ビーム科学研究センター

近未来量子計測探索専門委員会

量子計測技術における近未来の産業のシーズやニーズについて情報収集や調査をし、産業界への普及  
とさらなる進化に向けた取り組みを行う。

委員長	黒澤 俊介	東京大学 大学院工学系研究科
委員	有元 誠	金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター
	菊永 英寿	東北大学 電子光理学研究センター
	島添 健次	東京大学 大学院工学系研究科
	高取 沙悠理	岡山大学 異分野基礎科学研究所
	中 竜大	東邦大学 理学部
	永尾 翔	東京大学 大学院理学系研究科
	古野 達也	福井大学 学術研究院工学系部門
	山田 美帆	東京都立産業技術高等専門学校

次世代核医学イメージング探索専門委員会

今後の国内における核医学診断の高度化を促進するため、それらを支える新しい原理に基づく装置や  
技術開発等について、海外動向も踏まえながら領域横断的な取り組みを行う。

委員長	山谷 泰賀	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
副委員長	高橋 美和子	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
委員	伊藤 公輝	国立がん研究センター中央病院
	黒澤 俊介	東京大学 大学院工学系研究科
	辻 厚至	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	樋口 隆弘	ユリウス・マクシミリアン大学ヴェルツブルク ／岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科

獣医核医学利用開拓推進専門委員会

獣医核医学に応用できるRI、動物、疾患の種類の拡充を検討し、合理的な獣医診療となるよう規定を  
見直し、国内の獣医核医学診療の普及を図る。

委員長	柿崎 竹彦	北里大学 獣医学部
副委員長	市瀬 潤	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
委員	木村 祐哉	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部
	坂下 哲哉	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
	鈴木 博元	千葉大学 大学院薬学研究院
	高橋 朋子	大阪公立大学 大学院獣医学研究科
	東元 周平	(株) 千代田テクノル
	長谷川 純崇	量子科学技術研究開発機構 QST病院
	米澤 智洋	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	李 恵子	量子科学技術研究開発機構 QST病院
	難波 将夫	(公社) 日本アイソトープ協会

放射線照射標的分子探索専門委員会		
様々な細胞標的への短飛程放射線の選択的な送達とその生物学的影響に関する情報収集や調査を実施する。		
委員長	清野 泰	福井大学 高エネルギー医学研究センター
副委員長	小川 美香子	北海道大学 大学院薬学研究科
委員	飯塚 大輔	量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所
	大島 康宏	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
	大原 麻希	量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所
	小川 数馬	金沢大学 新学術創成研究機構
	鈴木 博元	千葉大学 大学院薬学研究院
	永津 弘太郎	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	松谷 悠佑	北海道大学 大学院保健科学研究院

若手ユーザ活性化専門委員会		
若手研究者にとっての放射線・RI利用のハードルを下げられるよう提案するとともに、現場からの要望等の情報を収集することで、若手研究者におけるRI利用の拡大と活性化を図る。		
委員長	杉田 亮平	名古屋大学 アイソトープ総合センター
委員	上ノ町 水紀	東京科学大学 総合研究院
	熊谷 友多	日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究センター
	佐藤 大輔	産業技術総合研究所
	島田 幹男	放射線影響研究所
	立花 優	九州大学 アイソトープ統合安全管理センター

## 2.2 医学・薬学部会

### 2.2.1 概要

医学・薬学部会では、アイソトープの医学、薬学分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを専門委員会を中心に実施しています。

### 2.2.2 第30期医学・薬学部会（任期：2024年4月～2026年3月）の構成

常任委員会		
医学・薬学分野におけるアイソトープ・放射線の利用を推進し、科学技術の発展に寄与するため、本部会細則に定める所要の活動を行う。		
部会長	細野 眞	近畿大学 医学部
副部会長	西山 佳宏	香川大学 医学部
	間賀田 泰寛	浜松医科大学 光医学総合研究所
常任委員	上原 知也	千葉大学 大学院薬学研究院
	内山 眞幸	東京慈恵会医科大学
	大野 和子	京都医療科学大学
	岡沢 秀彦	福井大学 高エネルギー医学研究センター
	沖崎 貴琢	旭川医科大学
	織内 昇	福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
	絹谷 清剛	金沢大学 医薬保健研究域医学系
	久慈 一英	埼玉医科大学 国際医療センター
	茂松 直之	埼玉メディカルセンター
	中本 裕士	京都大学 大学院医学研究科
	山本 智朗	杏林大学 保健学部
	吉村 亮一	東京科学 大学大学院医歯学総合研究科

#### 企画専門委員会

医学・薬学会の活動全般にわたる企画・立案、調整・運営について検討し、常任委員会に意見具申する。

委員長	久慈 一英	埼玉医科大学 国際医療センター
委員	澁谷 孝行	金沢大学 医薬保健研究域保健学系
	野上 宗伸	神戸大学 医学部附属病院／福井大学高エネルギー医学研究センター
	溝脇 尚志	京都大学 大学院医学研究科
	向 高弘	神戸薬科大学
	山本 由佳	香川大学 医学部
	若林 大志	金沢大学 附属病院

#### 放射性医薬品専門委員会

放射性医薬品の利用促進と施設内取扱いに関する検討を行う。

委員長	間賀田 泰寛	浜松医科大学 光医学総合研究所
委員	秋澤 宏行	昭和薬科大学
	和泉 啓司郎	日本病院薬剤師会
	上原 知也	千葉大学 大学院薬学研究院
	小川 数馬	金沢大学 医薬保健研究域薬学系
	川井 恵一	金沢大学 医薬保健研究域保健学系
	小林 正和	金沢大学 医薬保健研究域保健学系
	古本 祥三	東北大学 先端量子ビーム科学研究センター
	丸野 廣大	千葉西総合病院／虎の門病院
	山本 由美	東北医科薬科大学 薬学部

#### 放射性医薬品安全性専門委員会

放射性医薬品の安全性確保に資するため、放射性医薬品副作用事例等の調査・検討を行う。

委員長	岡沢 秀彦	福井大学 高エネルギー医学研究センター
委員	上原 知也	千葉大学 大学院薬学研究院
	萱野 大樹	金沢大学 医薬保健研究域医学系
	久慈 一英	埼玉医科大学 国際医療センター
	東 達也	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	吉村 真奈	東京医科大学

#### ポジトロン核医学利用専門委員会

PET検査の臨床利用に関する検討を行う。

委員長	織内 昇	福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
委員	佐藤 葉子	藤田医科大学 東京先端医療研究センター
	千田 道雄	神戸市立医療センター中央市民病院
	田代 学	東北大学 先端量子ビーム科学研究センター
	巽 光朗	順天堂大学 大学院医学研究科
	立石 宇貴秀	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
	中本 裕士	京都大学 大学院医学研究科
	西井 龍一	名古屋大学 大学院医学系研究科
	花岡 宏史	関西医科大学 光免疫医学研究所
	馬場 眞吾	九州大学 医学部
	平田 健司	北海道大学 大学院医学研究院
	細野 眞	近畿大学 医学部
	間賀田 泰寛	浜松医科大学 光医学総合研究所

放射線治療専門委員会

密封線源等による放射線治療に関する検討を行う。

委員長	茂松 直之	埼玉メディカルセンター
副委員長	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター
委員	生島 仁史	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	石山 博條	北里大学 医学部
	上村 博司	横浜市立大学 附属市民総合医療センター
	宇野 隆	千葉大学大学院医学研究院
	大西 洋	山梨大学 医学部
	佐藤 威文	北里大学 医学部、佐藤威文前立腺クリニック
	神宮 啓一	東北大学 大学院医学系研究科
	戸板 孝文	沖縄県立中部病院
	中村 和正	浜松医科大学
	花田 剛士	慶應義塾大学 医学部
	深貝 隆志	昭和大学 医学部
	村上 直也	順天堂大学 大学院医学研究科
	門間 哲雄	国立病院機構東京医療センター
	吉岡 靖生	がん研究会有明病院
	吉村 亮一	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科

放射線治療専門委員会

アルファ線源による悪性腫瘍に対する小線源治療の適正使用に関する実施要綱案作成  
ワーキンググループ<sup>1</sup>

アルファ線源による悪性腫瘍に対する小線源治療の適正使用のための実施要綱（案）を作成する。

主 査	吉村 亮一	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
副 主 査	井垣 浩	国立がん研究センター中央病院
委 員	稲木 杏吏	国立がん研究センター
	大越 明	東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科
	深田 淳一	慶應義塾大学 医学部
	本間 明宏	北海道大学 大学院医学研究院
	三浦 雅彦	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科

<sup>1</sup> 任期：2023年12月～2025年11月

アイソトープ内用療法専門委員会

アイソトープの内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

委員長	細野 眞	近畿大学 医学部
委員	尾川 松義	横浜市立大学 附属病院
	小川 美香子	北海道大学 大学院薬学研究院
	織内 昇	福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
	加藤 弘樹	大阪大学 医学部附属病院
	絹谷 清剛	金沢大学 医薬保健研究域医学系
	小林 規俊	横浜市立大学 大学院医学研究科
	神宮 啓一	東北大学 大学院医学系研究科
	神宮司 メグミ	南風病院
	立石 宇貴秀	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
	西村 和郎	大阪国際がんセンター
	花岡 宏史	関西医科大学 光免疫医学研究所
	馬場 眞吾	九州大学 医学部
	前田 幸人	徳島文理大学 保健福祉学部
	三宅 秀明*	神戸大学 大学院医学研究科
	棟方 理	国立がん研究センター中央病院
	山口 一郎	国立保健医療科学院
	横溝 晃	原三信病院
	吉村 真奈	東京医科大学

\* 2025年4月より

2.3 放射線安全取扱部会

2.3.1 概要

放射線安全取扱部会では、アイソトープ・放射線に関する公共の安全・安心を確保するため、アイソトープ・放射線の安全取扱、管理について技術の向上と知識の普及・啓発を図ること、また、アイソトープ・放射線に関する国民の理解と放射線を取り扱う専門家への信頼を深めるため、放射線取扱主任者をはじめ放射線障害の防止に関する専門知識を有する者の育成と地位向上に努めるための諸活動を実施しています。

2.3.2 第33期放射線安全取扱部会（任期：2024年4月～2026年3月）の構成

本部運営委員会

アイソトープ・放射線の安全取扱、管理について技術の向上と知識の普及・啓発を図り、アイソトープ・放射線に関する国民の理解と放射線を取り扱う専門家への信頼を深めること、また、放射線取扱主任者をはじめ放射線障害の防止に関する専門知識を有する者の育成と地位向上に努めるため、本部会細則に定める所要の活動を行う。

部会長	渡部 浩司	東北大学 先端量子ビーム科学研究センター
副部会長	山本 由美	東北医科薬科大学 薬学部
	角山 雄一	京都大学 環境安全保健機構
本部運営委員	北浦 廣剛	北海道医療大学 薬学部
	山本 文彦	東北医科薬科大学 薬学部
	佐々木 博之	富士電機（株）
	大矢 恭久	静岡大学 学術院理学領域
	稲垣 昌代	近畿大学 原子力研究所
	岩崎 智之	愛媛大学 学術支援センター
	尾上 昌平	鹿児島大学 先端科学研究推進センター
	桧垣 正吾	東京大学 アイソトープ総合センター

【支部組織】

支部委員会は部会の活動目的を推進するため、各々の地域において講習会、勉強会等を企画・実施し、支部会員等への広報、情報提供その他必要な活動を行う。

北海道支部委員会

支 部 長	北浦 廣剛	北海道医療大学 薬学部
委 員	佐藤 香織	札幌医科大学 医学部教育研究機器センター
	佐藤 博隆	北海道大学 大学院工学研究院
	華園 究	酪農学園大学 獣医学群獣医学類
	東山 貴之	(株) 千代田テクノル

東北支部委員会

支 部 長	山本 文彦	東北医科薬科大学 薬学部
委 員	齋藤 美希	弘前大学 アイソトープ総合実験室
	高橋 和弘	福島県立医科大学 先端臨床研究センター
	日尾 彰宏	東北大学 大学院農学研究科・農学部
	比嘉 剛志	東北大学 大学院医学系研究科ラジオアイソトープセンター
	船木 善仁	東北大学 先端量子ビーム科学研究センター

関東支部委員会

支 部 長	佐々木 博之	富士電機 (株)
委 員	赤塩 敦子	理化学研究所 仁科加速器科学研究センター
	秋山 和彦	東京都立大学 大学院理学研究科
	稲塚 祥次	(株) イング
	片岡 賢英	慶應義塾大学 医学部放射線安全管理室
	小坂 尚樹	東京大学 アイソトープ総合センター
	佐山 邦之	アロカ (株)
	鈴木 朗史	長瀬ランダウア (株)
	関 健介	杏林大学 保健学部
	廣田 昌大	信州大学 基盤研究支援センター
	藤井 智彦	帝京大学 中央RI教育・研究施設
	松村 万寿美	筑波大学 放射線・アイソトープ地球システム研究センター

中部支部委員会

支 部 長	大矢 恭久	静岡大学学術院理学領域
委 員	大場 理	愛知医科大学病院
	北村 陽二	金沢大学疾患モデル総合研究センター
	杉田 亮平	名古屋大学アイソトープ総合センター
	田中 将裕	自然科学研究機構核融合科学研究所
	山口 智広	金城学院大学薬学部
	山下 英二	東名古屋画像診断クリニック
	山本 晃生	アロカ (株)

近畿支部委員会

支 部 長	稲垣 昌代	近畿大学 原子力研究所
委 員	朝田 良子	大阪公立大学 大学院工学研究科
	井原 勇人	和歌山県立医科大学 医学部RI実験施設
	梶白 育男	日本メジフィジックス (株)
	菓子野 元郎	奈良県立医科大学 ラジオアイソトープ実験施設
	小久保 友絵	(株) アトックス
	平野 雄生	(株) 日本環境調査研究所
	藤本 裕之	京都大学 環境安全保健機構
	松本 敦	(株) コーガアイソトープ

中国・四国支部委員会

支 部 長	岩崎 智之	愛媛大学 学術支援センター
委 員	甲高 彩華	島根大学 研究・学術情報本部総合科学研究支援センター
	寺東 宏明	岡山大学 自然生命科学研究支援センター
	堀川 秀昌	徳島大学 技術支援部
	松嶋 亮人	広島大学 自然科学研究支援開発センター
	松田 詳平	(株) 千代田テクノ

九州支部委員会

支 部 長	尾上 昌平	鹿児島大学 先端科学研究推進センター
委 員	白石 善興	熊本大学 技術部
	土屋 雅之	(株) 千代田テクノ
	永元 啓介	産業医科大学 産業生態科学研究所
	三浦 美和	長崎大学 放射線総合センター
	山川 博文	福岡大学 RIセンター実験施設

【本部組織】

企画専門委員会

部会の根幹を支え、部会の事業および組織全般に関して、企画立案し、審議・推進することを主務とする。

委 員 長	山本 由美	東北医科薬科大学 薬学部
委 員	稲田 晋宣	広島大学 自然科学研究支援開発センター
	上高 祐人	名古屋大学 大学院医学系研究科
	柴田 理尋	名古屋大学 アイソトープ総合センター
	谷口 真	日本科学未来館
	中島 裕美子	九州大学 アイソトープ統合安全管理センター
	福島 芳子	(株) はま福
	牧 大介	(株) 千代田テクノ
	安井 博宣	北海道大学 大学院獣医学研究院

広報専門委員会

部会活動の対外的な情報発信と部会員相互の情報共有を推進し、部会員の資質向上及び部会の地位向上を図ることを主務とする。

委 員 長	角山 雄一	京都大学 環境安全保健機構
委 員	井原 智美	日本農薬 (株)
	恵谷 玲央	大分県立看護科学大学
	出路 静彦	岐阜医療科学大学 保健科学部
	平木 仁史	駒澤大学 医療健康科学部
	丸山 百合子	(株) 千代田テクノ

法令検討専門委員会

アイソトープの利用促進と適切な管理に資するため、法令に係る検討を行い、必要な提言を行うことを主務とする。

委 員 長	桧垣 正吾	東京大学 アイソトープ総合センター
委 員	飯塚 裕幸	東京大学 工学系・情報理工学系等環境安全管理室
	亀田 周二	(株) 千代田テクノ
	河内 杉雄	PDRファーマ (株)
	北 実	鳥取大学 研究推進機構研究基盤戦略センター
	鈴木 智和	大阪大学 放射線科学基盤機構

## 2.4 その他の委員会

Isotope News編集委員会 Isotope Newsを編集、刊行する。		
委員長	上 蓑 義朋	(公社) 日本アイソトープ協会
委員	小林 奈通子	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	下川 卓志	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	高橋 美和子	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
	二ツ川 章二	アルファ・タウ・メディカル (株)
	松崎 浩之	東京大学 総合研究博物館
	松友 紀和	川崎医療福祉大学 医療技術学部診療放射線技術学科

RADIOISOTOPES編集委員会 (任期：2025年4月～2027年3月) RADIOISOTOPESを編集、刊行する。		
委員長	藤井 博史	(公社) 日本アイソトープ協会
副委員長	久保 謙哉	国際基督教大学 教養学部
	藤浪 真紀	上智大学 理工学部機能創造理工学科
委員	浅井 圭介	東北大学 大学院工学研究科応用化学専攻
	五十嵐 康人	京都大学 複合原子力科学研究所
	小川 数馬	金沢大学 薬学系
	狩野 直樹	新潟大学 工学部
	志田原 美保	東北大学 大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻
	高橋 浩之	東京大学 大学院工学系研究科
	田野井 慶太郎	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	細田 正洋	弘前大学 大学院保健学研究科
	保田 浩志	広島大学 原爆放射線医科学研究所

## 2.5 講演会・見学会等

### 2.5.1 理工・ライフサイエンス部会（理・ラ）

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
8・21	WEB開催	オンライン企画 のぞいてみよう！あの先生の研究室 「サンゴ年輪の環境学」	理・ラ
11・17	WEB開催	オンライン企画 のぞいてみよう！あの先生の研究室 「加速器を利用したヨウ素129の測定 － 人類の核エネルギー利用の痕跡を追う」	理・ラ

### 2.5.2 放射線安全取扱部会

#### (1) 令和7年度放射線安全取扱部会年次大会（第66回放射線管理研修会）

月・日	会場、場所	演題等
10・16 ～17	ピアザ淡海 (近畿支部)	部会総会 部会の活動報告・活動計画 功労表彰・放射線安全管理奨励賞 特別講演Ⅰ（原子力規制委員会原子力規制庁） 「最近の放射線規制の動向（放射性同位元素等規制法関連）」 特別講演Ⅱ 「核医学治療の最新動向と現場状況」 特別講演Ⅲ 「原子力災害への対応と自治体における取り組み」 シンポジウムⅠ 「大規模照射事業の現状と将来予測」 シンポジウムⅡ 「琵琶湖をめぐる安全サイクルー放射線管理の365日ー」 ポスター発表 28題 機器展示、相談コーナー

#### (2) 研修会、勉強会等

##### ○東北支部

月・日	会場、場所	演題等
1・27	東北大学先端量子 ビーム科学研究セ ンター青葉山事業 所	放射線管理実務セミナー 「原子力・放射線の技術士制度について」 「東北大におけるアクチニウム225を中心とした核医学治療用RI製造に関する研究」

##### ○関東支部

月・日	会場、場所	演題等
9・26	明治大学 生田 キャンパス	研修会 「その放射線施設のリスクに気づいていますか」 「RI廃棄物の集荷に関するリスクマネジメント」 「福島第一原子力発電所事故後の構内における線量低減、作業環境改善等の歩み」

##### ○中部支部

月・日	会場、場所	演題等
1・30	日本原子力研究開 発機構 東濃地科 学センター	講演会・施設見学 「東濃地科学センターにおける地層処分技術に関する研究開発」

○中国・四国支部

月・日	会場、場所	演題等
1・14	岡山大学自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門鹿田施設	研修会 「核燃料物質・国際規制物資の安全管理研究及び人材育成拠点について」 「受動形個人線量計の空港保安検査時の線量調査について～バッジの取扱い方を中心に～」

○九州支部

月・日	会場、場所	演題等
9・12	熊本大学山崎記念館・オンラインのハイブリッド	研修会 「地方で不足する放射線取扱主任者人材の現状と展望」 「強みを活かした特色ある放射線施設運営」

○企画専門委員会

月・日	会場、場所	演題等
9・8	オンライン	放射線の安全管理技術を共有するシンポジウム -立入検査の体験談-

### 3. 第62回アイソトープ・放射線研究発表会

会 期	令和7年7月2日～4日
会 場	日本科学未来館
主 催	日本アイソトープ協会
協賛・後援	66学協会
協賛企業	17社
特別講演	<ul style="list-style-type: none"><li>・新たな手法で探る広島原爆の黒い雨</li><li>・アルファ線からガンマ線、粒子線まで放射線イメージングの広大な世界</li><li>・癌関連線維芽細胞を標的としたFAPI PETの役割と今後の展望</li><li>・有害性発現経路（AOP）：化学物質規制科学分野における開発の現状と放射線規制への応用に向けた期待</li></ul>
パネル討論	<ul style="list-style-type: none"><li>・短飛程放射線の核医学治療薬剤としての可能性</li></ul>
特別企画	<ul style="list-style-type: none"><li>・若手企画「研究者のキャリアパス」</li><li>・2025年日本アイソトープ協会奨励賞 授与式および受賞講演</li></ul>
研究発表件数	133件（口頭発表93件（招待講演13件含む）、ポスター発表40件）
要 旨 集	第62回アイソトープ・放射線研究発表会（J-STAGE掲載）
参加登録者数	501名

#### 4. 講習会

##### 4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習

###### 4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第475回	令和 7年 5月26日 ~ 5月30日	22名	22名
第476回	令和 7年 6月23日 ~ 6月27日	32名	32名
第477回	令和 7年10月27日 ~ 10月31日	31名	31名
第478回	令和 7年11月17日 ~ 11月21日	13名	13名
第479回	令和 7年12月 1日 ~ 12月 5日	21名	21名
第480回	令和 7年12月15日 ~ 12月19日	17名	17名
第481回	令和 8年 1月19日 ~ 1月23日	30名	30名
第482回	令和 8年 2月 2日 ~ 2月 6日	22名	22名
第483回	令和 8年 2月16日 ~ 2月20日	22名	22名
第484回	令和 8年 3月 2日 ~ 3月 6日	19名	19名
第485回	令和 8年 3月23日 ~ 3月27日	25名	25名

備考： 目的 「放射性同位元素等の規制に関する法律」第35条第2項に定める講習  
 対象 第1種放射線取扱主任者試験合格者で18歳以上の者  
 講習内容 (1) 放射線の基本的な安全管理に関する課目  
 (2) 放射性同位元素及び放射線発生装置並びに放射性汚染物の取扱い並びに使用施設等及び廃棄物詰替施設等の安全管理の実務に関する課目  
 (3) 放射線の量及び放射性同位元素又は放射線発生装置から発生した放射線により生じた放射線を放出する同位元素による汚染の状況の測定の実務に関する課目  
 (4) 放射性同位元素等又は放射線発生装置の取扱いに係る事故が発生した場合の対応の実務に関する課目  
 (5) 修了試験  
 会 場 協会会議室及び実習室

###### 4.1.2 第2種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第20回	令和 7年 6月16日 ~ 6月18日	8名	8名
第21回	令和 7年10月 1日 ~ 10月 3日	8名	8名
第22回	令和 8年 3月11日 ~ 3月13日	29名	29名

備考： 目的 「放射性同位元素等の規制に関する法律」第35条第3項に定める講習  
 対象 第2種放射線取扱主任者試験合格者で18歳以上の者  
 講習内容 (1) 放射線の基本的な安全管理に関する課目  
 (2) 放射性同位元素（密封されたものに限る。）の取扱い及び使用施設等（密封された放射性同位元素を取り扱うものに限る。）の安全管理の実務に関する課目  
 (3) 放射線の量の測定の実務に関する課目  
 (4) 放射性同位元素（密封されたものに限る。）又は放射性汚染物の取扱いに係る事故が発生した場合の対応の実務に関する課目  
 (5) 修了試験  
 会 場 協会会議室及び実習室

#### 4.1.3 第3種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第47回	令和 7年 5月19日 ~ 5月20日	16名	16名
第48回	令和 7年10月 9日 ~ 10月10日	32名	32名
第49回	令和 8年 1月28日 ~ 1月29日	27名	27名

備考：目 的 「放射性同位元素等の規制に関する法律」第35条第4項に定める講習

対 象 18歳以上の者

講 習 内 容 (1) 法に関する課目  
 (2) 放射線及び放射性同位元素の概論  
 (3) 放射線の人体に与える影響に関する課目  
 (4) 放射線の基本的な安全管理に関する課目  
 (5) 放射線の量の測定及びその実務に関する課目  
 (6) 修了試験

会 場 協会会議室及び実習室

#### 4.1.4 放射線取扱主任者定期講習

回	開催地	開催日	受講者数	修了者数
使2501回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年6月6日	30名	30名
密2501回			12名	12名
使2551回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年7月10日	27名	27名
密2551回			7名	7名
使2502回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年7月31日	23名	23名
密2502回			11名	11名
使2552回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年8月5日	18名	18名
密2552回			6名	6名
使2503回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年8月22日	23名	23名
密2503回			8名	8名
使2553回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年9月10日	18名	18名
密2553回			8名	8名
使2504回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年9月18日	12名	12名
密2504回			11名	11名
販2541回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年10月7日	15名	15名
使2554回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年10月23日	20名	20名
密2554回			8名	8名
使2555回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年11月12日	12名	12名
密2555回			3名	3名
使2506回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和7年11月14日	30名	30名
密2506回			12名	12名
使2556回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和7年12月4日	20名	20名
密2556回			7名	7名
使2557回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和8年1月16日	22名	22名
密2557回			7名	7名
使2507回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	令和8年1月26日	22名	22名
密2507回			10名	10名
使2558回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和8年2月24日	31名	31名
密2558回			10名	10名
使2559回	WEB会場 eラーニングと討論(Zoom)	令和8年3月10日	29名	29名
密2559回			16名	16名

備考：	目的	「放射性同位元素等の規制に関する法律」第36条の2に定める講習
	対象	(1) 下記事業所等の選任された放射線取扱主任者 ・許可届出使用者 ・届出版売業者、届出貸業者（表示付認証機器のみを販売又は賃貸する者並びに放射性同位元素等の運搬及び運搬の委託を行わない者を除く） ・許可廃棄業者 (2) 選任された放射線取扱主任者以外の者で本講習の受講を希望する者
	講習内容	(1) 法に関する課目 (2) 事故に関する課目 (3) 安全管理に関する課目（密封） (4) 安全管理に関する課目（密封以外） 上記の内、講習種別によって必要な課目を受講
	会場	東京及びWEB会場

#### 4.1.5 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第148回	令和 7年 4月21日 ～ 4月22日	14名	14名
第149回	令和 7年11月 6日 ～ 11月 7日	32名	32名
第150回	令和 8年 1月 8日 ～ 1月 9日	32名	32名

備考： 目 的 「作業環境測定法」第5条に定める講習  
 対 象 第1種作業環境測定士試験合格者又は作業環境測定法第14条第3項により  
 試験の全科目免除者  
 講 習 内 容 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務  
 会 場 協会会議室及び実習室

#### 4.2 法定の教育訓練講習会等

##### 4.2.1 放射線取扱業務従事者のための教育訓練講習会

回	会 期	受講者数
04B回	令和7年4月16日～5月15日	276名
05A回	令和7年5月1日～5月31日	277名
05B回	令和7年5月16日～6月15日	164名
06A回	令和7年6月1日～6月30日	195名
06B回	令和7年6月16日～7月15日	59名
07A回	令和7年7月1日～7月31日	43名
07B回	令和7年7月16日～8月15日	94名
08A回	令和7年8月1日～8月31日	54名
08B回	令和7年8月16日～9月15日	62名
09A回	令和7年9月1日～9月30日	73名
09B回	令和7年9月16日～10月15日	41名
10A回	令和7年10月1日～10月31日	75名
10B回	令和7年10月16日～11月15日	79名
11A回	令和7年11月1日～11月30日	98名
11B回	令和7年11月16日～12月15日	42名
12A回	令和7年12月1日～12月31日	95名
12B回	令和7年12月16日～令和8年1月15日	49名
01A回	令和8年1月1日～1月31日	75名
01B回	令和8年1月16日～2月15日	83名
02A回	令和8年2月1日～2月28日	54名
02B回	令和8年2月16日～3月15日	110名
03A回	令和8年3月1日～3月31日	119名
03B回	令和8年3月16日～3月31日	69名

備考： 目 的 「放射性同位元素等の規制に関する法律」第22条に定める教育訓練  
 （事業所の放射線障害予防規程の内容を除く）  
 対 象 放射線業務従事者及び取扱等業務に従事する者であって管理区域に立ち入らない者  
 講 習 内 容 (1) 放射線の人体に与える影響  
 (2) 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱い  
 (3) 放射線障害の防止に関する法令  
 会 場 WEB会場  
 そ の 他 事業所内教育訓練への講師派遣 22件

#### 4.3 その他の講習会

##### 4.3.1 アイソトープ基礎技術入門講習会

回	会 期	受講者数
第93回	(講義) 令和 7年 4月18日 ~ 5月23日 (実習) 令和 7年 5月12日	11名

備考：目的 アイソトープの安全取扱いに必要な基礎的な知識の習得、及び安全な取扱い、測定に関する講義と実習を実施する  
 対象 特に新人教育向け  
 講習内容 講義：アイソトープの基礎、人体影響、測定技術、取扱いの実際、RI法  
 実習：測定実習、取扱実習  
 会場 講義：WEB会場、実習：協会会議室及び実習室

##### 4.3.2 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会

回	会 期	受講者数
第45回	令和 7年 3月28日 ~ 4月18日	7名
第46回	令和 7年10月15日 ~ 11月 5日	10名
第47回	令和 7年12月17日 ~令和 8年 1月 7日	13名

備考：目的 サンプルングされた試料の放射能濃度を求めるための考え方と計算方法の習得  
 対象 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習を受講する者  
 講習内容 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務  
 会場 WEB会場

##### 4.3.3 ラジオアイソトープ安全取扱講習会

###### (1) 第1種放射線取扱主任者受験のための集中セミナー

回	会 期	受講者数
第53回	令和 7年 6月 9日 ~ 6月13日	27名

###### (2) 第1種放射線取扱主任者受験のためのオンラインセミナー

回	会 期	受講者数
第5回	令和 7年 5月16日 ~ 8月29日	102名

###### (3) 第1種放射線取扱主任者受験のためのオンラインセミナー（演習のみ）

回	会 期	受講者数
第5回	令和 7年 6月16日 ~ 8月29日	10名

備考：目的 第1種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ  
 対象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を要する者、主任者試験の受験を予定する者  
 講習内容 物理学、化学、生物学、実務、RI法の各講義と演習  
 会場 (1)-協会会議室、(2)(3)-WEB会場

#### 4.3.4 密封線源安全取扱講習会

##### (1) 第2種主任者受験のためのオンラインセミナー

回	会 期	受講者数
第5回	令和 7年 6月 2日 ~ 8月29日	129 名

備考： 目 的 第2種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ  
 対 象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を要する者、  
 主任者試験の受験を予定する者  
 講 習 内 容 物理・化学、密封線源、生物影響、実務、RI法の各講義と演習  
 会 場 WEB会場

#### 4.3.5 核医学看護のための放射線安全セミナー

回	会 期	受講者数
第4回	令和 7年12月 6日	12 名
第5回	令和 8年 2月 7日	16 名

備考： 目 的 核医学の現場において必要な放射線防護についての知識、  
 実技によりサーベイメータの取扱いや測定方法の習得  
 対 象 医療従事者（主に看護師）向け教育  
 講 習 内 容 放射線の基礎、放射線利用と安全取扱、測定実習  
 会 場 協会会議室及び実習室

#### 4.3.6 アイソトープ内用療法講習会

回	会 期	受講者数*
第1回	令和 7年 5月28日 ~ 6月16日	88 名
第2回	令和 7年 7月23日 ~ 8月11日	72 名
第3回	令和 7年10月 8日 ~ 10月27日	393 名
第4回	令和 7年12月 3日 ~ 12月22日	340 名
第5回	令和 8年 2月18日 ~ 3月 9日	380 名

\* 以下5講習会合計

備考：以下の5講習会を同時期にWEB開催（講習内容1, 2は各講習会共通）

##### 塩化ラジウム（Ra-223）注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する講習会

目 的 放射性塩化ラジウム（ $^{223}\text{RaCl}_2$ ）注射液を用いた骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌治療に係る医療の安全確保及び放射線の安全取扱いに関する知識の習得  
 対 象 塩化ラジウム（Ra-223）注射液を用いた骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌治療に携わる医療関係者  
 講 習 内 容 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理  
 2 放射線安全管理（法令、放射線測定を含む）  
 3  $\alpha$ 線内用療法の有効性（臨床応用に関する基礎的事項）  
 4 臨床応用

##### I-131（1, 110MBq）による残存甲状腺破壊（アブレーション）の外来治療における適正使用に関する講習会

目 的 I-131（1, 110MBq）による残存甲状腺の破壊（アブレーション）の外来治療に係る放射線の安全取扱いの習得  
 対 象 遠隔転移のない分化型甲状腺癌における甲状腺全摘術後に、「退出基準」を適用して、残存甲状腺破壊（アブレーション）の目的でI-131ヨウ化ナトリウムカプセル1, 110MBqを投与する治療を実施する施設の医師、診療放射線技師、薬剤師等の医療関係者  
 講 習 内 容 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理  
 2 放射線安全管理（法令、放射線測定を含む）  
 3 医療従事者の被ばく防止、患者・家族への指示事項  
 4 臨床応用

ルテチウムオキソドトロオチド (Lu-177) 注射液を用いた核医学治療の安全取扱講習会

- 目的 ルテチウムオキソドトロオチド (<sup>177</sup>Lu) 注射液を用いたソマトスタチン受容体陽性の神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法に係る専門知識の修得
- 対象 ルテチウムオキソドトロオチド (Lu-177) 注射液を用いたソマトスタチン受容体陽性の神経内分泌腫瘍治療に携わる医療関係者
- 講習内容 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理  
2 放射線安全管理 (法令、放射線測定を含む)  
3 神経内分泌腫瘍治療の有効性 (基礎的事項)  
4 臨床応用

3-ヨードベンジルグアニジン (I-131) 注射液を用いた治癒切除不能なPPGLに対する核医学治療の安全取扱講習会

- 目的 MIBG集積陽性の治癒切除不能な褐色細胞腫・パラガングリオーマ患者を対象として3-ヨードベンジルグアニジン (<sup>131</sup>I) 注射液を用いて行う核医学治療に係る専門知識の修得
- 対象 3-ヨードベンジルグアニジン (I-131) 注射液を用いたMIBG集積陽性の治癒切除不能なPPGL治療に携わる医療関係者
- 講習内容 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理  
2 放射線安全管理 (法令、放射線測定を含む)  
3 I-131 MIBGの取扱いと被ばく防止  
4 臨床応用

ルテチウムビピボチドテトラキセタン (Lu-177) 注射液を用いた核医学治療の安全取扱講習会 (第3回より)

- 目的 ルテチウムビピボチドテトラキセタン (<sup>177</sup>Lu) 注射液を用いた前立腺特異的膜抗原陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する治療に係る専門知識の修得
- 対象 ルテチウムビピボチドテトラキセタン (Lu-177) 注射液を用いた前立腺特異的膜抗原陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する治療に携わる医療関係者
- 講習内容 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理  
2 放射線安全管理 (法令、放射線測定を含む)  
3 放射性リガンド療法の有効性 (基礎的事項)  
4 臨床応用

4.3.7 密封小線源治療安全取扱講習会

回	会 期	受講者数*
2025年度	令和 8年 2月25日 ~ 3月16日	102 名

\* 以下2講習会合計

備考：以下の2講習会を同時期にWEB開催

ヨウ素125シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療の安全管理・技術講習会

- 目的 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」に基づく放射線源安全取扱いに関する知識の修得
- 対象 前立腺に対する診療用放射線照射器具の永久挿入療法に携わるスタッフ
- 講習内容 1 前立腺小線源治療の総論と臨床  
2 前立腺小線源治療の計画法と傾向  
3 前立腺小線源治療手技の実際  
4 I-125線源の物理  
5 前立腺小線源治療の線源管理  
6 前立腺がんの看護

高線量率ラルス医療安全取扱講習会

- 目的 高線量率ラルスの線源交換から使用に至る過程での取扱いに関する知識・技術の向上
- 対象 高線量率密封小線源治療に携わるスタッフ
- 講習内容 1 小線源治療事故の総論  
2 婦人科小線源治療のインシデント・アクシデント Update  
3 前立腺・乳腺・頭頸部・他のインシデント・アクシデントUpdate  
4 物理QAと安全管理  
5 高線量率小線源治療における看護ケア

## 5. 図書等の発行

### 5.1 機関誌

#### 5.1.1 Isotope News（広報誌、偶数月1日発行）（Isotope News 編集委員会）

No. 798～803及び特別号No. 10を発行した。

特集 Isotope News800号記念（No. 800）

“ノーベル賞対談” “AIで分析！Isotope Newsの注目ワードで時代を読み解く”

“歴代会長たちの思い出の巻頭言”

特集 新春座談会“加速器質量分析の近年の進歩と将来展望”（特別号No. 10）

特集 原発事故から15年（No. 803）

\*2017年4月号～隔月刊行に移行

#### 5.1.2 RADIOISOTOPES（学術誌、7, 11, 3月発行）（RADIOISOTOPES 編集委員会）

Vol. 74 No. 2～3, Vol. 75 No. 1を発行した。

\*2021年度からJ-STAGEにて随時公開，年3回刊行に移行

投稿論文の他、以下を企画・掲載した。

解説 2編 : Vol. 74 No. 2, Vol. 75 No. 1

総説 2編 : Vol. 74 No. 3, Vol. 75 No. 1

特集 “核医学治療における内部被ばく線量計算法の最近の動向” : Vol. 74 No. 2

“研究開発・人材育成の中核的拠点としての「もんじゅ」サイト新試験研究炉” : Vol. 74 No. 2

### 5.2 出版物等

書名	判型	頁数	定価
① 6版 やさしい放射線とアイソトープ	A5判	133頁	2,200円 (本体2,000円+税10%)

## 6. 委託調査研究の受託実施等

### 6.1 官公庁等委託事業

- ① 原子力規制庁職員の規制業務（申請書の審査及び施設検査業務等）に資するため、原子力規制庁より令和7年度放射性同位元素等に関する規制概論研修（放射性同位元素等の取扱い、放射線施設の現場研修）の運営業務を受託し、実施した。（実施日：令和7年9月10日及び11日）

## 7. 普及・啓発

### 7.1 第6回（2025年）日本アイソトープ協会奨励賞

受賞者 2名

### 7.2 第29回（2025年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞

受賞者 5名

### 7.3 第62回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞

受賞者 6名

### 7.4 第62回アイソトープ・放射線研究発表会 ポスター賞

受賞者 6名

### 7.5 令和7年度放射線安全管理功労・環境放射能対策功労表彰

主催 当協会及び公益財団法人原子力安全技術センター、公益財団法人日本分析センター並びに放射線障害防止中央協議会

後援 原子力規制委員会

内容 放射性同位元素等の安全管理又は環境放射能対策関係者の更なる意欲の向上と安全確保に対する国民の理解促進を図るための表彰

受賞者 放射線安全管理功労者11名、環境放射能対策功労者3名

### 7.6 放射線教育に係る普及啓発活動

放射線教育用実験セットの貸出し

放射線教育用実験セット（線源（ $^{133}\text{Ba}$  370kBq）、放射線測定器、遮蔽材）を中学校・高等学校等に16回、看護系の大学、短期大学、専門学校等に5回貸出しを行った。

### 7.7 放射線による医療をテーマとした市民向け講演会

内容 市民講座「Lu-177標識PSMA製剤がもたらす前立腺がん治療の新展開」

一般市民向けに「放射性医薬品による新しいがん治療～Lu-177標識PSMA製剤による前立腺がん治療～」の演題の講演を行った。

開催期間 2026年2月18日（水）～3月27日（金）

開催方式 Web形式（「学びばこ」利用）

聴講者 457名

## 7.8 日本アイソトープ協会シンポジウム

内 容	「気候×環境×歴史 ～アイソトープから読み解く～」をテーマに、講演及び討論を実施した。
日 時	2025年12月5日（金）13：00～17：30
会 場	日本科学未来館 7階未来館ホール（オンライン同時配信）
登録者数	223名

## 7.9 武見記念館

展示内容	現代医学展示 身のまわりのアイソトープ・放射線展示 人工臓器ロボット 武見太郎先生日本医師会会長在職中備品 放射線利用及び科学技術の発展に関するパネル等の展示
開館時間	10:00～16:00 (土・日・祝日、創立記念日(5月1日)、年末年始(12月29日～1月4日)を除く)
来館者数	40名

## 7.10 その他の啓発活動

### 東京都市大学 サイエンスカフェ

内 容	東京都市大学が主催するサイエンスカフェに出展し、一般市民へアイソトープ・放射線に対する知識の拡大に努めた。
会 期	2025年11月1日（土）、2日（日）
会 場	東京都市大学 世田谷キャンパス
来 場 者	イベント全体約600名

### 放射線教育発表会

内 容	公益財団法人日本科学技術振興財団が主催する放射線教育発表会に出展し、放射線教育を実施している教員に向けて、当協会が提供している放射線教育のコンテンツを紹介した。
日 時	2025年12月27日（土）13：00～17：30
会 場	科学技術館1階イベントホール
来 場 者	協会ブース参加者40名

### キングスカイフロント 夏の科学イベント

内 容	キングスカイフロント夏の科学イベント実行委員会及び川崎市が共同主催する、小学生を対象とした科学体験型イベントに出展し、霧箱作成体験や放射線の遮蔽実験、放射線に関するクイズを行った。
日 時	2025年8月6日（水）13：00～16：00
会 場	LiSE 川崎生命科学・環境研究センター等
来 場 者	協会ブース参加者34名（イベント全体 約300名）

資 料 部会活動の経過及び成果公表資料

1. 理工・ライフサイエンス部会

1.1 理工学部会、ライフサイエンス部会（昭和39年 4月～平成30年 3月）

(1) 理工学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI装備機器調査専門委員会 〔昭和39年 4月～12月〕	○ 利用状況および問題点のアンケート調査 * 「放射性同位元素装備機器利用状況調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 3(1965)
ラジオグラフィ専門委員会 〔昭和39年 4月～43年 3月〕	○ $\gamma$ 線ラジオグラフィ利用状況アンケート調査 * 「わが国における $\gamma$ 線ラジオグラフィの利用状況」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ 感光材料の問題点検討 * 「ラジオグラフィにおける圧力効果による“フィルムむら”について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ ガンマ線ラジオグラフィ検査基準の確立および $^{192}\text{Ir}$ 線源国産化の検討 日本原子力研究所、ラジオグラフィ使用事業所（8社）、照射機メーカー（4社）と数回にわたって試用共同実験 * 以上の成果として、「ガンマ線ラジオグラフィ露出計算尺」作製（昭和41年10月。昭和48年実用新案登録）、「ガンマ線透過撮影法」（昭和43年3月刊行(1968)）
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○ 「RI理工学利用文献集」（昭和48年以前は「RI工業利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、理工学文献題目集および理工学文献紹介を掲載。
中性子水分計および $\gamma$ 線密度計専門委員会 〔昭和40年 2月～44年 5月〕	○ 水分計、密度計の安定性に関する共同実験（14事業所が参加） * 「中性子水分計およびガンマ線密度計の安定性に関する共同実験結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 16, No. 2(1967) ○ 土の密度と含水量測定におけるRI法と在来法の比較共同実験 ○ 中性子水分計およびガンマ線密度測定法マニュアルの検討（未完結）
オートラジオグラフィ専門委員会 〔昭和42年10月～45年 5月〕	○ 金属オートラジオグラフィにおける感光材料の解像力に関する共同実験 * 「理工学におけるオートラジオグラフィの最近の研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 1(1970) * 「放射性銀試験体を用いたマイクロオートラジオグラフィの分解能に関する研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 11(1970)
線源専門委員会 〔昭和43年 5月～44年 3月〕	○ 各種密封線源について利用開発上の問題点、検査法等について検討
環境汚染物質の放射化分析に関する専門委員会 〔昭和46年 9月～49年11月〕	○ 技術上の問題点、利用促進のための当面および将来の体制整備等に関する検討 * 「環境汚染物質の放射化分析における諸問題」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
硫黄分析計専門委員会 〔昭和46年 9月～52年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硫黄分析計利用状況アンケート調査 石油中重金属の測定値に及ぼす影響に関する共同実験、硫黄分測定照合実験（参加20機関）</li> <li>* 「RI式硫黄分析計による重油試料測定上の問題点 1. 放射線透過式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 11(1975)</li> <li>* 「（同上）2. 放射線励起式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975)</li> <li>* 「（同上）3. 照合試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 2(1976)</li> <li>* 「JIS K2285-1978 石油製品放射線透過式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定）</li> <li>* 「JIS K2286-1978 石油製品放射線励起式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定）</li> </ul>
流れの測定に関する専門委員会 〔昭和46年10月～49年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野外および各種工程における気体、液体、粉体の流れ・拡散の測定へのRI利用測定技術について検討</li> <li>* 「表面水流れ測定へのアイソトープの利用」、「化学反応装置内の流れの測定」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 3(1976)</li> </ul>
環境物質放射化分析専門委員会 〔昭和50年 1月～51年 1月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用状況アンケート調査</li> <li>* 「放射化分析利用の手引き 環境調査と放射化分析一」（昭和51年5月）を自治体公害調査部門等へ配布</li> <li>* 「環境物質の調査における放射化分析の利用状況」 Isotope News誌、昭和50年12月号(1975)</li> </ul>
環境物質放射化分析マニュアル作成検討専門委員会 〔昭和51年 7月～52年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上記2専門委員会の活動成果に基づき、環境試料の放射化分析技術に関する手引書の作成について予備的検討</li> <li>* 「放射化分析による環境調査—微量・多元素・同時分析の手法」（昭和54年3月刊行(1979)）</li> </ul>
放射能標準体使用マニュアル作成専門委員会 〔昭和52年 2月～56年 7月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種の放射能標準体・標準線源の適正な使用に資する解説書の作成</li> <li>* 「放射能標準体・標準線源とその使用法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 3～12(1979)、Vol. 29, No. 1(1980) 昭和56年5月単行書刊行(1981)</li> </ul>
利用機器専門委員会 〔昭和53年 6月～57年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射性同位元素装備機器管理基準に関する調査（科学技術庁委託）</li> <li>* 「JIS Z4821 1981 密封放射線源」原案を作成（昭和56年3月制定）</li> <li>* 「RI装備機器・設計承認制度について」 Isotope News誌、昭和56年5月号(1981)</li> </ul>
RI野外トレーサ利用専門委員会設立検討会 〔昭和58年 3月～ 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ RI野外トレーサ実験実施上の問題点を抽出し、野外トレーサ利用促進のための専門委員会作業の要否を明らかにし、専門委員会設置の要を報告</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射線防護機器専門委員会 〔昭和58年 6月～平成30年 3月〕	<p>○放射線防護機器に関する資料を収集・検討し、隔年毎に「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集・発行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「1982年版」 (昭和57年発行)</li> <li>* 「1984年版」 (昭和59年発行)</li> <li>* 「1986/87年版」 (昭和61年発行)</li> <li>* 「1988/89年版」 (昭和63年発行)</li> <li>* 「1990/91年版」 (平成2年発行)</li> <li>* 「1992/93年版」 (平成4年発行)</li> <li>* 「1994/95年版」 (平成6年発行)</li> <li>* 「1996/97年版」 (平成8年発行)</li> <li>* 「1998/99年版」 (平成10年発行)</li> <li>* 「2000/01年版」 (平成12年発行)</li> <li>* 「2002/03年版」 (平成14年発行)</li> <li>* 「2004/05年版」 (平成16年発行)</li> <li>* 「2006/07年版」 (平成18年発行)</li> <li>* 「2008/09年版」 (平成20年発行)</li> <li>* 「2010/11年版」 (平成22年発行)</li> <li>* 「2012/13年版」 (平成24年発行)</li> <li>* 「2014/15年版」 (平成26年発行)</li> <li>* 「2016/17年版」 (平成28年発行)</li> </ul>
RI野外トレーサ実験調査委員会 〔昭和59年 4月～平成 2年 6月〕	<p>○RI野外利用の実施を促すため、理工学、農学・生物学の分野で実験の実現が望まれている代表的なモデルについて検討を行うとともに科学技術庁と懇談、折衝。技術基準・安全基準の検討、アンケート調査の実施、講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「RI野外トレーサ利用アンケート集計結果報告」 Isotope News誌、昭和62年5月号“あいそとびっく” (1987)</li> <li>* 「放射性トレーサの野外・現場利用の歴史と現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 4～6 (1988)</li> <li>* 「放射性トレーサの野外・現場利用推進上の問題点」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 6 (1990)</li> </ul>
密封放射線源JIS改訂専門委員会 〔昭和60年 4月～12月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「JIS Z4821密封放射線源」 (昭和56年3月制定) の見直し</li> </ul>
原子力用語JIS改訂専門委員会 〔昭和61年 8月～平成 4年 5月〕	<p>○日本工業規格「JIS Z4001原子力用語」の改訂に当たり、「放射線・アイソトープ利用・防護」部門の用語について調査検討。</p>
理工分野における放射性廃棄物検討専門委員会 〔平成 3年 9月～ 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「研究分野における放射性廃棄物の取扱い」 (平成6年5月刊行 (1994))</li> </ul>
微弱アイソトープ利用技術専門委員会 〔平成 4年 6月～10年 5月〕	<p>○微弱アイソトープ利用の促進と安全性の確保について調査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「IAEA安全シリーズ No. 102、工業、医学、研究、教育分野におけるアイソトープの安全使用と規則に関する勧告の抄訳」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 3 (1995)</li> <li>* 「微弱アイソトープの安全利用に関する調査研究報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 2～4 (1999)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射線同位体等の産業利用専門委員会 〔平成7年 8月～12年 5月〕	○ 産業分野におけるRI利用技術の調査、許認可申請の標準化について検討を行った。 * 「RI・放射線の産業利用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 46, No. 5～10(1997) * 「放射性同位体等の産業利用専門委員会報告書」 (平成12年5月)
放射線教育専門委員会 〔平成7年 8月～16年 5月〕	○ 放射線教育入門テキスト〔ライフサイエンス分野編〕を編集し、テスト版として発行(平成10年3月)。  放射線教育入門テキスト〔医学・臨床分野編〕を(平成11年1月)編集し、テスト版として発行。
量子ビーム専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ ①新しい量子ビームの発生と利用、②半導体プロセスや医療への放射線利用、③量子ビーム利用に関する法規制の最適化等について検討を行うとともに、外部利用を受け付けるビーム利用施設の調査を行う。 * 「日本における研究用加速器施設の現状アンケートに関する中間報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 7(2003) * 「日本における研究用加速器施設の現状(2005)調査報告と量子ビーム利用の広がり」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 12(2005)
放射線イメージング専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ 放射線イメージングの技術・学問内容について調査し、他のイメージング技術も参照しつつ、放射線イメージング技術の新しい方向について検討。 * 「放射線イメージング技術の最前線」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 10～Vol. 53, No. 6(2003～2004)
超低レベル放射能測定専門委員会 〔平成16年 9月～平成24年 5月〕	○ 通常の放射線計測技術では測定が困難あるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。 * 「超低レベル放射能測定の現状と展望」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 4～No. 11(2006)合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。 * 「液体シンチレーションカウンタによる測定の現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 2(2012)に掲載(4題)
中性子イメージング専門委員会 〔平成17年 9月～平成22年 5月〕	○ 中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るための調査・検討を行う。 * 「中性子イメージング技術の基礎と応用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 4～Vol. 57, No. 5(2007～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。
RI・放射線 一般向け教育実験ノート ワーキンググループ	○ RI・放射線関係者以外の人達にRI・放射線、ひいては自然現象に対する理解を深めて貰うことに寄与するため、RI・放射線等に関する教育的実験についての情報を集め、取り纏めてIsotope News誌に掲載。このような実験を多くの場で取り入れてもらう一助とする。 * 「RI・放射線 一般向け教育実験ノート」 Isotope News誌、平成18年4月号～平成19年5月号、平成20年3月号～5月号、7月号～12月号(2006～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
中性子応用専門委員会 〔平成22年 6月～30年 3月〕	<p>○ 発展の著しい中性子関連の幾つかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たに幾つかのテーマを加え研究調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「パルス中性子を用いた分光的イメージング」 Isotope News誌、平成22年6月号“展望”（2010）</li> <li>* 「農林水産加工分野にひらける中性子イメージングの応用可能性」 Isotope News誌、平成23年2月号“展望”（2011）</li> <li>* 「中性子の産業利用（トライアルユース）：中性子ラジオグラフィー」 Isotope News誌、平成23年2月号“利用技術”（2011）</li> <li>* 「日本の小型加速器中性子源施設（中性子イメージング利用を中心に）」 Isotope News誌、平成26年1月号“利用技術”（2014）</li> <li>* 中性子イメージング研究の現在 「ナノ粒子合成のための超臨界水・常温水混合 状態の中性子ラジオグラフィによる可視化」 Isotope News誌、平成26年5月号“展望”（2014）</li> <li>* 「コンクリートのイメージング」 Isotope News誌、平成26年6月号“展望”（2014）</li> <li>* 「軽元素局所構造解明のための原子分解能中性子ホログラフィー」 Isotope News誌、平成26年8月号“展望”（2014）</li> <li>* 「パルス中性子イメージングによる金属材料研究」 Isotope News誌、平成26年9月号“展望”（2014）</li> <li>* 「植物イメージングの最近の話題」 Isotope News誌、平成26年10月号“展望”（2014）</li> <li>* 「共鳴中性子イメージングの現状」 Isotope News誌、平成26年11月号“展望”（2014）</li> <li>* 「パルス中性子用画像検出器の開発」 Isotope News誌、平成27年2月号“展望”（2015）</li> <li>* 「中性子を用いた磁場の可視化技術」 Isotope News誌、平成27年4月号“展望”（2015）</li> <li>* 「中性子ラジオグラフィを用いた熱交換器への着想の評価」 Isotope News誌、平成27年6月号“展望”（2015）</li> <li>* 「パルス中性子ビームを用いたリチウムイオン二次電池の充放電反応の非破壊イメージング」 Isotope News誌、平成27年7月号“展望”（2015）</li> <li>* 「通信品質を小型加速器中性子源が支える！一宇宙線による通信機器の誤動作を再現し、未然に防ぐためのソフトウェア試験技術」 Isotope News誌、平成27年7月号“展望”（2015）</li> <li>* 「中性子小角散乱による溶液中のタンパク質の構造解析」 Isotope News誌、平成28年3月号“展望”（2016）</li> <li>* 「J-PARCパルス中性子イメージング装置RADENの現状」 Isotope News誌、平成28年8月号“展望”（2016）</li> <li>* 「中性子共鳴吸収分光法による 温度測定研究の展開」 Isotope News誌、平成30年4月号放射線“RI塾”（2018）</li> <li>* 「腐食鋼板の塗膜下腐食中の水を見る実験」 Isotope News誌、平成30年4月号“利用技術”（2018）</li> <li>* 「中性子捕捉療法に応用するボロンデリバリーシステム開発の経験と今後の展望」 Isotope News誌、平成30年6月号“利用技術”（2018）</li> <li>* 「医療用加速器中性子源の開発と産業・工業分野への応用」 Isotope News誌、平成30年6月号“利用技術”（2018）</li> <li>* 「研究用原子炉KURの新規制基準への対応」 Isotope News誌、平成30年6月号“TRACER”（2018）</li> <li>* 「中性子イメージングカタログ／中性子施設ハンドブック」平成30年3月発行（2018）。協会ホームページに掲載。</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会 〔平成24年 6月～26年 3月〕	○東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、測定技術や除染技術等について現状を踏まえた情報の提供等を通じ、知識・技術の普及啓発に取り組む。検知・除染等の技術に係る研究開発の現状を紹介する記事企画をIsotope News誌に提供するほか、ワーキンググループを設置して放射線に関する基礎的知識の普及および食品等の放射能測定のための分析法の規格化に関する検討を行う。 <p>* 「面で捉える汚染分布の測定技術 ―ファイバー検出器による放射性セシウムの測定―」 Isotope News誌、平成25年10月号“TRACER” (2013)</p> <p>* 「CdTeを用いた放射能分布測定技術」 Isotope News誌、平成25年10月号“TRACER” (2013)</p> <p>* 「臭化タリウム半導体検出器」 Isotope News誌、平成25年11月号“TRACER” (2013)</p> <p>* 「原子炉事故におけるβ線被ばく」 Isotope News誌、平成25年11月号“TRACER” (2013)</p> <p>* 「USB駆動型PSF空間線量当量率測定システムの実用化と測定実績」 Isotope News誌、平成25年12月号“TRACER” (2013)</p> <p>* 「福島第一原子力発電所近傍における放射能除染技術と除染の現状」 Isotope News誌、平成26年5月号“TRACER” (2014)</p> <p>* 「SPEEDI を真に原子力防災に生かすために」 Isotope News誌、平成26年9月号“TRACER” (2014)</p>
放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会 放射線に関する基礎的知識の普及ワーキンググループ 〔平成25年 2月～26年 3月〕	○東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、放射線等に関する教育を受けていない一般の方を対象とし、主に放射性セシウムに重点を置いた、放射線・放射能に関する基礎的な知識の普及に係るテキストの作成を行う。 <p>* 「セシウムのABC」平成26年6月発行(2014)</p> ○東京電力福島第一原子力発電所事故後の食品中及び環境試料中の放射性セシウムの測定に関する状況を受け、シンチレーションスペクトロメータ（主にNaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ）を用いた測定法に関して、標準試料及び標準測定手順の規格化を行う。 <p>* 「NaI (Tl) シンチレーションスペクトロメータによるγ線スペクトロメトリーガイダンス」 平成27年3月発行(2015)。協会ホームページに掲載。</p>
放射線理工学若手リーディングサークル 〔平成25年 6月～27年 3月〕	○放射線・同位体理工学に関連した研究・技術開発や社会貢献のあり方など、この分野の若手を呼び込むインセンティブとなるような提案について自由に発想し、可能であれば具体化に向けた検討を行う。
次世代スペクトル解析専門委員会 〔平成27年 4月～30年 3月〕	○ゲルマニウム半導体検出器およびシンチレーション検出器で使用されているスペクトル解析の解析技術および使用されているソフトウェアの現状をレビューし、問題点や改善すべき点を抽出する。さらに、スペクトル解析技術について、日本国内および国外での新しい研究成果や技術開発をレビューする。得られた結果をもとに、次世代スペクトル解析ソフトウェアのあり方を議論し、ソフトウェア開発を行う。 <p>* 「ガンマ線スペクトル解析におけるピーク探査と面積計算実態と今後のスペクトル解析のあるべき姿」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 65, No. 6(2016)に掲載</p>
放射線利用若手理解促進専門委員会 〔平成28年 4月～30年 3月〕	○学生や若年層に放射性同位体・放射線の有用性を訴求し、放射線理工分野への人材供給、及び研究開発を含む放射線利用活動の活性化を図る。 <p>* 放射線を正しく知るロールプレイングゲームアプリ“Ri”をリリース(2018)</p>

(2) ライフサイエンス部会 (昭和39年 4月～平成30年 3月)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○「RI農学・生物学利用文献集」(昭和55年2月までは「RI農学・生物学利用文献抄録集」)の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、農学・生物学文献題目集および農学・生物学文献トピックスを掲載。
ラジオガスクロマトグラフィ専門委員会 〔昭和43年 3月～50年 9月〕	○農学・生物学分野におけるラジオガスクロマトグラフィに関する技術の利用開発、普及について調査、検討。
<sup>15</sup> N専門委員会 〔昭和48年 9月～51年 2月〕	○内外の関係文献の調査と勉強会などを開催し、利用の知識・方法の普及を検討。 安定同位元素専門委員会へ発展的に改組。
安定同位元素専門委員会 〔昭和51年 3月～平成30年 3月〕	○安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。 * 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 6～Vol. 57, No. 3, Vol. 57, No. 9(2007～2008) * 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 7, No. 11(2010) * 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 3(2012)、Vol. 62, No. 2, No. 4(2013) * 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 63, No. 12(2014)、Vol. 64, No. 3(2015)、Vol. 64, No. 4(2015)、Vol. 64, No. 7(2015)、Vol. 66, No. 9(2017)
微量RIの管理に関する専門委員会 〔昭和48年 9月～57年 5月〕	○生化学分野における微量RIの使用施設の在り方、排水処理の方法、貯蔵・保管の方法、固体廃棄物・有機廃液の処理等の可能性について検討。
遺伝子工学専門委員会 〔昭和61年10月～平成 4年 5月〕	○生物学関連の遺伝子工学分野におけるRI利用状況を調査 * 「遺伝子工学実験講座」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 10～Vol. 38, No. 2, 4(1987～1989) 合本し、「遺伝子工学実験 Strategy & Practice」として平成3年5月出版(1991)。
アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕	○RIをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴および適切な用途等の最新情報を収集し、公表した。 * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 10～No. 12, Vol. 43, No. 1(1993～1994) * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器(第二シリーズ)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8～No. 12, Vol. 45, No. 1～No. 2(1995～1996) * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器(第三シリーズ)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11～No. 12, Vol. 48, No. 1～No. 5, No. 7～No. 9, No. 11～No. 12, Vol. 49, No. 1～No. 2, No. 10～No. 12, Vol. 50, No. 1～No. 2(1998～2001) 第一、第二シリーズの合本冊子を作成。 第三シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成14年2月)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕</p> <p>分子生物学分野のRI取扱専門委員会 (平成8年6月より、「ライフサイエンス分野 のRI取扱専門委員会」に名称変更) 〔平成 4年 6月～平成14年 5月〕</p> <p>薬学・薬理学研究専門委員会 〔平成 6年11月～30年 3月〕</p> <p>獣医核医学専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕</p> <p>食品照射専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕</p> <p>下限数量以下の非密封RIの安全取扱に関する専門 委員会 〔平成26年 5月～平成30年3月〕</p>	<p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第四 シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 3～No. 6、 Vol. 53, No. 3、Vol. 54, No. 1～No. 2、No. 7～No. 8(2003～ 2005) 第四シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成17年9月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第五 シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 7～No. 10、 Vol. 56, No. 3～No. 4、No. 9、Vol. 57, No. 2、 Vol. 58, No. 7 (2006～2009)</p> <p>○ 分子生物学分野（ライフサイエンス分野）におけるRI取扱 上の諸問題について安全で円滑な利用を図るための調査、 検討を行った。</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告」 Isotope News誌、平成6年9月号 “会員へのお知らせ” (1994)</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告 －「監督区域」設置の可能性を探るアンケートの結果－ “会員へのお知らせ” (1995)</p> <p>* 「ライフサイエンスの話題」 Isotope News誌、平成15年2月号～5月号(2003)</p> <p>○ 薬学・薬理学研究分野におけるRI利用の問題点を調査す</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分 野のRI取扱いに関するアンケート結果－」 Isotope News誌、平成9年4月号 “会員へのお知らせ” (1997)</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分 野における放射線・放射能計測法に関するアンケート結果 －」 Isotope News誌、平成11年11月号 “会員へのお知らせ” (1999)</p> <p>* 「RI計測のためのQ&amp;A」 協会ホームページに掲載。(平成17年7月)(2005)</p> <p>* 「マイクロドーズ試験の現状と展望」 Isotope News誌、平成20年4月号 “展望” (2008)</p> <p>○ 伴侶動物への核医学診療における諸問題の検討を行う。</p> <p>* 「獣医核医学専門委員会 中間報告書」 (平成15年9月2日)(2003)</p> <p>○ 食品照射についての内外の情報を集め調査・検討を行う。</p> <p>* 「食品照射に関するQ&amp;A」 協会ホームページに掲載。(平成20年11月)(2008)</p> <p>○ 下限数量以下の非密封放射性物質の利用促進に資するた め、その安全かつ具体的使用方法に関する検討を行う。</p> <p>* 「使用許可を持たない施設における下限数量以下の非密封 RIの使用に関する安全取扱マニュアル」 協会ホームページに掲載。(平成28年5月)(2016)</p>

1.2 理工・ライフサイエンス部会 (平成30年 4月～現在)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
アイソトープ手帳改訂専門委員会 〔平成30年 4月～令和2年3月〕	* 12版「アイソトープ手帳」 企画・編集 (2020年出版)
RI利用推進専門委員会 〔平成30年 4月～現在〕	* 「小動物用PET、SPECTによる分子イメージング研究ガイド」協会ホームページに掲載。(2020) * 「小動物用PET、SPECTによる分子イメージング研究ガイド第2版」を協会ホームページに掲載。(2024) * 資料「2019年度RI製造・利用調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 70, No. 4 (2021) * 「研究用RIに対する意識調査」集計結果 (速報版) 協会ホームページに掲載。(2022) * 資料「2021年度RI利用者アンケート調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 73, No. 2 (2024)
下限数量以下の非密封RIの安全取扱に関する専門委員会 〔平成30年 4月～令和2年3月〕	* 「非密封RIの使用許可を有する施設における下限数量以下での非密封RIの使用に関する安全取扱マニュアル」 協会ホームページに掲載。(2019) * 「下限数量以下の非密封RIの利用例 (新薬開発におけるRIマイクロドーズ臨床試験)」 Isotope News誌、2020年2月号“放射線・RI塾”
獣医療におけるRI利用専門委員会 〔平成30年 4月～令和4年3月〕	* 「ペットのためのPET検査」 (獣医療啓発パンフレット) 協会ホームページに掲載。(2019) * 「獣医療における放射線診療の現状と将来展望についてのweb座談会」 FBNews (株式会社千代田テクノル発行)、No. 533 (2021)
植物RIイメージング利用推専門委員会 〔平成30年 4月～令和2年3月〕	* 植物RIイメージング研究に関する各種コンテンツの作成 J-RAM (放射性試薬の総合情報サイト) に掲載。(2020)
放射線設備機器利用推進専門委員会 〔平成30年 4月～令和2年3月〕	* 「Gradin」: RI・放射線関連機器・装置等に関する情報提供サイト 冊子版の「放射線防護用設備・機器ガイド」をWeb版の総合情報提供サイト「Gradin (Guide of Radiation Instruments and Installation)」として公開。(2018)
若手ユーザ活性化専門委員会 〔平成30年 4月～現在〕	* 「最前線のアイソトープ・放射線研究紹介ー私が研究者になるまでー」 (研究紹介ページ) 協会ホームページに掲載 (No. 1～No. 63、2019～2026. 3)
RI利用推進専門委員会 創薬研究レビュー作成ワーキンググループ 〔令和2年 4月～令和4年3月〕	* 「放射性医薬品開発研究への招待」 (医薬品開発の概説テキスト) 協会ホームページに掲載。(2022)
次世代核医学イメージング探索専門委員会 〔令和2年 4月～令和8年3月〕	* 「核医学の魅力と新たな展開」 Isotope News誌、2022年1月号“新春座談会” * 総説「高精度診断を目指したSPECT to PETの提言」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 73, No. 1 (2024)
食品照射専門委員会 〔令和2年 4月～令和6年3月〕	* 連載講座「食品照射の現状と展望」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 71, No. 1～3 (2022) * 「食品照射の最前線 ～研究者が解説するQ&A～」 (「食品照射に関するQ&A」 (旧ライフサイエンス部会食品照射専門委員会作成) の全面改訂) 協会ホームページに掲載。(2024) * 食品照射実践マニュアル ～食品衛生や植物検疫などへの適正な利用のために～ (Manual of Good Practice in Food Irradiation Sanitary Phytosanitary and Other Applications (IAEA) の日本語翻訳版) 協会ホームページに掲載。(2025)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI動画教育推進専門委員会 〔令和4年 4月～現在〕  放射線照射標的分子探索専門委員会 〔令和4年 4月～令和8年3月〕  近未来量子計測探索専門委員会 〔令和6年 4月～現在〕  獣医核医学利用開拓推進専門委員会 〔令和7年 4月～現在〕	* 「動画による放射性物質の安全取扱いと放射線防護」 (RI教育動画) 協会ホームページに掲載。(2024)  * 総説「短飛程放射線を利用した核医学治療薬剤の開発状況」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 73, No. 3 (2024)

2. 医学・薬学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>インビトロテスト専門委員会 〔昭和46年 9月～平成22年 5月〕</p>	<p>* 「RIインビトロ検査全国コントロールサーベイ」 (第1回～21回までRADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>* 「イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」 (第22回より名称変更。RADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>第1回 (1978年実施)、Vol. 29, No. 11 (1980)            第2回 (1979年実施)、Vol. 30, No. 1 (1981)            第3回 (1980年実施)、Vol. 31, No. 7 (1982)            第4回 (1982年実施)、Vol. 32, No. 6 (1983)            第5回 (1983年実施)、Vol. 32, No. 7, 8 (1983)            第6回 (1984年実施)、Vol. 34, No. 9 (1985)            第7回 (1985年実施)、Vol. 35, No. 10 (1986)            第8回 (1986年実施)、Vol. 36, No. 10 (1987)            第9回 (1987年実施)、Vol. 37, No. 11 (1988)            第10回 (1988年実施)、Vol. 38, No. 10 (1989)            第11回 (1989年実施)、Vol. 39, No. 10 (1990)            第12回 (1990年実施)、Vol. 40, No. 10 (1991)            第13回 (1991年実施)、Vol. 41, No. 11 (1992)            第14回 (1992年実施)、Vol. 42, No. 11 (1993)            第15回 (1993年実施)、Vol. 43, No. 10 (1994)            第16回 (1994年実施)、Vol. 44, No. 11 (1995)            第17回 (1995年実施)、Vol. 45, No. 11 (1996)            第18回 (1996年実施)、Vol. 46, No. 11 (1997)            第19回 (1997年実施)、Vol. 47, No. 11 (1998)            第20回 (1998年実施)、Vol. 48, No. 11 (1999)            第21回 (1999年実施)、Vol. 49, No. 10 (2000)            第22回 (2000年実施)、Vol. 50, No. 10 (2001)            第23回 (2001年実施)、Vol. 51, No. 10 (2002)            第24回 (2002年実施)、Vol. 52, No. 10 (2003)            第25回 (2003年実施)、Vol. 53, No. 10 (2004)            第26回 (2004年実施)、Vol. 54, No. 10 (2005)            第27回 (2005年実施)、Vol. 55, No. 10 (2006)            第28回 (2006年実施)、Vol. 56, No. 10 (2007)            第29回 (2007年実施)、Vol. 57, No. 10 (2008)            第30回 (2008年実施)、Vol. 58, No. 10 (2009)</p> <p>* 「The Large “Kit-to-Kit” Variation in Insulin Radioimmunoassay is Mainly Due to Defference in Standard Concentration」 CHEMISTRY, Vol. 28, No. 12</p> <p>* 「An Inter- and Intra-laboratory Quality-Control Survey of Radioimmunoassay of Insulin, Thyroxin, Thyrotropin, Cortisol, Digoxin, Gastrin, <math>\beta</math>2-Microglobulin and IgE in Japan with Commercially Available Kits」 CHEMISTRY, Vol. 29, No. 8</p> <p>* 「RIインビトロ検査の現状と問題点」 Isotope News誌、1992年2～3月号</p>



専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 11(1979)</li> <li>* 「シンチカメラ性能の定期点検に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 30, No. 7(1981)</li> <li>* 「キュリーメータの試験方法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 4(1983)</li> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告（1984改定）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)</li> <li>* 「Single Photon Emission Computed Tomography装置の性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 3(1984)</li> <li>* 「SPECT像表示の規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 8(1986)</li> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告（1987年第2次改定）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 2～3(1988)</li> <li>* 「核医学イメージングのための小児への放射性医薬品投与量に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 11(1988)</li> <li>* 「SPECT装置の回転軸ずれおよびイメージサイズ変動に関する日常試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 2(1990)</li> <li>* 「核医学イメージング装置の保守点検に関する実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 3(1992)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「ガンマカメラによるデジタル画像の表示・記録に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 1(1994)</li> <li>* 「標準的な核医学イメージングプロトコル(1994年第3次改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994)</li> <li>* 「日常臨床における心臓核医学検査の選択に関する試案」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 3(1996)</li> </ul>
核医学技術専門委員会 (平成6年6月～8年5月まで核医学技術小委員会として核医学イメージング規格化専門委員会に置かれる) 〔昭和59年 6月～平成 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学検査室における機器および施設等の安全管理に関するアンケート調査結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 9(1987)</li> <li>* 「核医学検査室における機器及び施設等の安全管理に関するアンケート調査報告 第2報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 11(1990)</li> <li>* 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第3報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 3(1994)</li> <li>* 「キュリーメータの測定精度実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994)</li> </ul>
核医学イメージング・検査技術専門委員会 (平成8年より核医学イメージング規格化専門委員会と核医学技術小委員会が合併した) 〔平成 8年 6月～28年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第4報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 12(1996)</li> <li>* 「核医学画像と形態画像 (CT/MRI) の重ね合わせの現状と普及に向けての提案」 Isotope News誌、1997年11月号</li> <li>* 「デジタルガンマカメラおよびSPECT装置の定期点検」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 5(1998)</li> <li>* 「核医学の安全管理等に関するアンケート調査報告 第5報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 8(1999)</li> <li>* 「全身イメージングにおける適正スキャン速度に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 7(2002)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第6報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 8(2002)</li> <li>* 「核医学紹介シリーズ」 (平成14年10月)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第7報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 7(2005)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第8報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 7(2008)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第9報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 60, No. 7, 8(2011)</li> <li>* 「全国を対象とした『核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告』第10報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 63, No. 7(2014)</li> <li>* 「ドーズキャリブレーションの管理及び点検のマニュアル」 協会ホームページに掲載 (2016)</li> <li>* 「PET装置の品質管理・品質保証に関するアンケート調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 11(2012)</li> </ul>
医療放射線管理問題専門委員会 〔昭和53年 1月～57年 7月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「平均使用数量の導入による <math>^{11}\text{C}</math>、<math>^{13}\text{N}</math>、<math>^{15}\text{O}</math>、<math>^{18}\text{F}</math> の1日最大使用数量の求め方」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 31, No. 7(1982)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>核医学用語分類専門委員会 〔昭和53年 1月～59年11月〕</p> <p>サイクロトロン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用 専門委員会」に名称変更) 〔昭和56年 9月～現在〕</p>	<p>* 「医療行為の国際分類(ICPM)コード利用による全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)</p> <p>* 「院内サイクロトロンにより製造される放射性薬剤の臨床利用について」 Isotope News誌、1983年9月号</p> <p>* 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指針：Ⅰ 医療施設ないし医学研究施設内の加速器等で生産された超短寿命核種の臨床利用に関する指針、Ⅱ 院内サイクロトロン放射性薬剤に関する指針、Ⅲ 院内サイクロトロン放射性薬剤の臨床利用に関する指針、Ⅳ サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 34, No. 11(1985)</p> <p>* 「院内サイクロトロン放射性薬剤の前臨床段階における安全性の評価に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 11(1986)</p> <p>* 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床利用に関する指針(続報Ⅰ)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 8(1988)</p> <p>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1990年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 40, No. 3(1991)</p> <p>* 「What is PET? “Q and A” —PETをよりよく理解するために—」</p> <p>* 「PET装置の性能評価のための測定指針(1992年4月)」</p> <p>* 「PET装置の性能評価のための測定指針(1994年6月改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994)</p> <p>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1994年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 6(1995)</p> <p>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 12(1999)</p> <p>* 「PET薬剤製造施設基準」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000)</p> <p>* 「FDG-PET検査の臨床的有用性と医療経済効果に関する全国調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000)</p> <p>* 「院内製造されたFDGを用いてPET検査を行うためのガイドライン」 核医学、38巻2号(2001)</p> <p>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</p> <p>* 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</p> <p>* 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
サイクロトン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用 専門委員会」に名称変更) [昭和56年 9月～現在]	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「サイクロトン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定追補)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 7(2001)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2003年11月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第2報」 Isotope News誌、2005年2月号</li> <li>* 「院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン 第2版」 核医学、42巻4号(2005)</li> </ul>
ポジトロン核医学利用専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第3報」 Isotope News誌、2006年10月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第4報」 Isotope News誌、2008年1月号</li> <li>* 「保険診療に認められていない悪性腫瘍(癌、肉腫)の診断における<sup>[18F]</sup>FDG-PETの臨床的有用性—多施設アンケート調査による検討—」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 1(2008)</li> <li>* 「PET用放射性医薬品の合成、分注、品質管理に携わる作業者の被ばく線量調査報告」 Isotope News誌、2008年10月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第5報」 Isotope News誌、2008年12月号</li> <li>* 「PET核医学におけるサイクロトン施設からの漏えい線量等に係る検討ワーキンググループ報告書」(2009)</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の臨床使用の指針(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第6報」 Isotope News誌、2009年6月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第7報」 Isotope News誌、2010年7月号</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準」の今後のあり方について—「研究」と「診療」の境界を結ぶ— RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 9(2010)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第8報」 Isotope News誌、2011年11月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第9報」 Isotope News誌、2012年5月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第10報」 Isotope News誌、2013年8月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第11報」 Isotope News誌、2014年6月号</li> <li>* 「PET検査に携わる人の被ばく状況に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2015年3月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第12報」 Isotope News誌、2015年4月号</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
ポジトロン核医学利用専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第13報」 Isotope News誌、2016年3月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第14報」 Isotope News誌、2017年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第15報」 Isotope News誌、2018年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第16報」 Isotope News誌、2019年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第17報」 Isotope News誌、2020年2月号</li> <li>* 「16年間のアンケート調査から見た我が国におけるPET検査の歩み」 Isotope News誌、2020年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第18報」 Isotope News誌、2021年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第19報」 Isotope News誌、2022年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第20報」 Isotope News誌、2023年2月号</li> <li>* 「PET薬剤を用いる臨床試験の海外動向調査報告」 Isotope News誌、2023年12月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第21報」 Isotope News誌、2024年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第22報」 Isotope News誌、2025年2月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第23報」 Isotope News誌、2026年2月号</li> <li>* 「NDBオープンデータを活用した2022年度PET保険診療の調査」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 74, No. 1(2025)</li> </ul>
薬学専門委員会 (平成6年より「放射性医薬品専門委員会」に名称変更) [昭和44年 6月～平成 6年]	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射性医薬品の最近の話題」 (RADIOISOTOPES誌講座合本) RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 1～7(1984)</li> <li>* 「放射性医薬品の安全取扱と管理」 JJSHP、Vol. 26, No. 12 (1990)</li> </ul>
放射性医薬品専門委員会 [平成 6年 6月～現在]	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「治療用放射性医薬品に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、1998年11月号</li> <li>* 「標識キット方式による<sup>99m</sup>Tc放射性医薬品の調製について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 53, No. 3(2004)</li> <li>* 「薬による放射性医薬品の体内挙動の変化について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 1(2007)</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について」 Isotope News誌、2013年4月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(2)」 Isotope News誌、2014年5月号</li> <li>* 「放射性医薬品取扱いの基本に関するQA集」(2015) 協会ホームページに掲載</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(3)」 Isotope News誌、2015年11月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(4)」 Isotope News誌、2017年2月号</li> <li>* 「放射性医薬品の院内調製に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2017年12月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(5)」 Isotope News誌、2018年8月号</li> <li>* 「放射性医薬品について 一教育資料一」 協会ホームページに掲載 (2019)</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(6)」 Isotope News誌、2020年4月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(7)」 Isotope News誌、2021年4月号</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射線治療専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射性医薬品について ―教育資料―」 Ver1.1 協会ホームページに掲載 (2021)</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(8)」 Isotope News誌、2022年2月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(9)」 Isotope News誌、2022年10月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(10)」 Isotope News誌、2023年10月号</li> <li>* 「放射性医薬品について ―教育資料―」 Ver1.2 協会ホームページに掲載 (2024)</li> <li>* 「薬による放射性医薬品の体内挙動の変化について(2)」 協会ホームページに掲載 (2024)</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(11)」 Isotope News誌、2025年4月号</li> <li>* 「放射性医薬品取扱いの基本に関するQA集」(2025) 協会ホームページに掲載</li> <li>* 「放射性医薬品について ―教育資料―」 Ver1.3 協会ホームページに掲載 (2026)</li> </ul>
放射線治療専門委員会 〔昭和57年 6月～平成 4年 5月、 平成12年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「医療用密封小線源の管理(RADIOISOTOPES誌講座合本)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 2～6(1987)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(初版・第二版)(2003)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第三版)(2004)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第四版)(2005)</li> <li>* 「前立腺癌小線源療法後1年以内死亡時の対応マニュアル」(2008)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第五版)(2011)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第六版)(2018)</li> <li>* 「シード線源永久挿入術後の前立腺摘出ガイドダンス」(2014)</li> <li>* 「高線量率RALS安全取扱マニュアル」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 10(1999)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第六版第二刷)(2022)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第六版第三刷)(2024)</li> </ul>
医療放射線管理専門委員会 〔平成 8年 9月～28年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 核医学診療施設における研究ボランティアの放射線被ばくの現状と今後の課題 ―RIを投与する臨床研究または治験を受けるボランティアの被ばくに関するアンケート調査報告― RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 11(2010)</li> </ul>
核医学診療実態調査専門委員会 (平成8年より「全国核医学診療実態調査専門委員会」に名称変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第2回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 4(1989)</li> <li>* 「第3回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 9～10(1993)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成 8年 6月～10年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第4回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 8(1998)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成13年 9月～16年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第5回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 8(2003)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: A report of the 5th nationwide survey in 2002 Annals of Nuclear Medicine Vol.18(1)(2004)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成18年10月～20年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第6回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 8(2008)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007 Annals of Nuclear Medicine Vol. 23(2) (2009)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成23年10月～25年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第7回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 62, No. 8(2013)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: a report of the seventh nationwide survey in 2012 Annals of Nuclear Medicine Vol. 28(10) (2014)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成28年 4月～30年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第8回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 67, No. 7(2018)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: a report of the eighth nationwide survey in 2017 Annals of Nuclear Medicine Vol. 33(10) (2019)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔令和 3年10月～ 5年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第9回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 72, No. 1(2023)</li> </ul>
アイソトープ内用療法専門委員会 〔平成18年 5月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」 (初版) (2007) (第二版・第三版) (2008) (第四版) (2009) (第四版第二刷) (2011) (第五版) (2013) (第五版第二刷) (2015)</li> <li>* 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」 (初版) (2008) (第二版) (2009) (第二版第二刷) (2011) (第三版) (2016) (第三版二刷) (2019)</li> <li>* 「塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いる内用療法の適正使用マニュアル」 (第一版) (2016) (第一版第二刷) (2017) (第二版) (2019) (第二版第二刷) (2023)</li> <li>* 「ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) 注射液を用いる核医学治療の適正使用マニュアル」 (第一版) (2021) (第一版第二刷) (2022) (第一版第三刷) (2025)</li> <li>* 「3-ヨードベンジルグアニジン (I-131) 注射液を用いた治癒切除不能なPPGLに対する核医学治療の適正使用マニュアル」 (第一版) (2021)</li> <li>* 「ルテチウムビピボチドテトラキセタン (Lu-177) 注射液を用いる核医学治療の適正使用マニュアル」 (第一版) (2025)</li> </ul>
標識抗体医学利用専門委員会 〔昭和63年 4月～平成 3年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「医学研究施設内で作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 12(1990) 核医学、第28巻3号(1991) 日本医放会誌、第51巻5号(1991)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射性医薬品施設内管理専門委員会 〔平成 1年10月～ 4年 5月〕  免疫核医学専門委員会 〔平成 5年 7月～ 8年 5月〕	* 「放射性医薬品の施設内取扱に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 2(1992)  * 「遺伝子組換え技術を応用して作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994) * 「RI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8(1995)

3. 放射線安全取扱部会\*

\* 平成24年4月に、放射線取扱主任者部会より名称変更

3.1 組織改正以前（昭和34年12月～平成 4年 5月）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>東京常任委員会 〔昭和34年12月～平成 4年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* Isotope News誌、No. 68～382「主任者コーナー」の編集（1960.4～1992.5）</li> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第5～36回）</li> </ul> <p>Isotope News誌（1961～1992）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射線施設の火災対策」（1961）</li> <li>* 「密封小線源の取扱」（1962）</li> <li>* 「個人外部被ばくモニタリングの手引き」（1964）</li> <li>* 「放射線管理実務マニュアルⅠ」（1983）</li> <li>* 「放射線施設の火災・地震対策」（1985）</li> <li>* 「外部被ばくモニタリング」（1986）</li> <li>* 「千葉県東方沖地震状況調査」</li> </ul> <p>Isotope News誌、1988年8月号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「千葉県東方沖地震状況調査」</li> </ul> <p>RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 2（1989）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「改訂放射線管理実務マニュアルⅠ」（1989）</li> <li>* 「放射線障害防止教育訓練用OHPシート」（1991）</li> <li>* 「放射線管理実務マニュアルⅡ」（1991）</li> <li>* 「現行法令の課題」（1992）</li> </ul>
<p>関西常任委員会 〔昭和36年 7月～平成 4年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第1～33回）</li> </ul> <p>Isotope News誌（1961～1992）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射線とアイソトープ」（1962）</li> </ul>
<p>中部常任委員会 〔昭和55年 6月～平成 4年 5月〕</p> <p>北海道地方委員 〔平成 2年 4月～平成 4年 5月〕</p> <p>東北地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕</p> <p>九州地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>基盤整備委員会 〔平成 2年11月～平成 3年 3月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「平成3年度主任者研修会（第32回部会総会）要旨集（補冊）」（1991）</li> </ul> <p>基盤整備委員会報告書</p>
<p>新体制移行委員会 〔平成 3年 9月～平成 4年 3月〕</p>	

3.2 組織改正以後（平成 4年 6月～現在）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>【本部組織】</p> <p>本部運営委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>企画専門委員会 （平成24年4月～企画委員会より名称変更） 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>広報専門委員会 （平成24年4月～広報委員会より名称変更） 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>法令検討専門委員会 （平成24年4月～法令検討委員会より名称変更） 〔平成 4年 6月～現在〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「主任者部会設立50周年資料集」 平成24年9月（2012）</li> <li>* 「東日本大震災放射線施設状況調査報告」 Isotope News誌、7月号、P. 61(2012)</li> <li>* 「熊本地震における放射線施設の状況調査報告」 Isotope News誌、2月号、P. 66(2017)</li> <li>* 「平成4年度主任者研修会(第33回部会総会)要旨集」(1992)</li> <li>* 「21世紀の主任者部会活動に向けて」(1996)</li> <li>* ニューメディア教育訓練用教材CD-ROM試作版（1999年8月）</li> <li>* 「消防機関における放射線教育研修についてのアンケート調査報告」Isotope News誌、12月号、P. 51(2016)</li> <li>* 資料集「第2回 放射線の安全管理技術を共有するシンポジウム -個人被ばく線量計の管理-」ホームページ(2024. 8)</li> <li>* 資料集「第3回 放射線の安全管理技術を共有するシンポジウム -放射線教育訓練-」ホームページ(2025. 2)</li> <li>* 資料集「第4回 放射線の安全管理技術を共有するシンポジウム -立入検査の体験談-」ホームページ(2025. 9)</li> <li>* Isotope News誌、No. 383～803「主任者コーナー」の編集（1992. 6～2026. 2）</li> <li>* 「主任者ニュース」第1～第31号編集(1995～2025)</li> <li>* 「改訂3版 放射線管理実務マニュアルI」平成5年9月（1993）</li> <li>* 法令検討委員会報告（案）（現行法令の課題） （平成11年10月）</li> <li>* 法令検討委員会報告（現行法令の課題） 平成12年度主任者年次大会要旨集, 2000, P. 223</li> <li>* 法令改正への対応に際してのQ&amp;A（1） Isotope News誌、6月号、P. 47(2001)</li> <li>* 法令改正への対応に際してのQ&amp;A（2） Isotope News誌、7月号、P. 50(2001)</li> <li>* Q&amp;A：BSS免除レベルの取り入れで法令はどう変わるのか Isotope News誌、11月号、P. 63(2003)</li> <li>* 法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」について Isotope News誌、7月号、P. 79(2004)</li> <li>* 改正法令に関するQ&amp;A：放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について Isotope News誌、6月号、P. 45(2005)</li> <li>* 「事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について」 Isotope News誌、4月号、P. 76(2006)</li> <li>* 「放射性同位元素使用施設等で発生する廃棄物のクリアランスについての現状」 Isotope News誌、10月号、P. 11(2006)</li> <li>* クリアランスを巡る最近の動きについて ークリアランスの運用状況及びICRPの新勧告ー Isotope News誌、5月号、P. 64(2008)</li> <li>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、10月号、P. 63(2009)</li> <li>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、11月号、P. 50(2010)</li> <li>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、11月号、P. 57(2012)</li> <li>* 放射線障害予防規程ガイドの解説書 協会ホームページに掲載（2018年12月） 改訂版を協会ホームページに掲載（2022年12月）</li> <li>* 放射線管理Q&amp;A：全面改訂（2020年1月）</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織化推進委員会 〔平成 8年 6月～平成14年 5月〕</li>   <li>・主任者部会－21世紀のあり方検討委員会 〔平成 8年11月～平成12年 5月〕</li>   <li>・放射線管理技術検討委員会 〔平成10年 4月～平成14年 5月〕</li>   <li>・製薬放射線委員会 〔平成10年 6月～平成12年 5月〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「選任放射線取扱主任者のアンケート調査」結果報告 Isotope News誌、6月号、P. 53(2000)</li> <li>* 「組織化推進委員会活動報告」 Isotope News誌、7月号、P. 49(2002)</li>   <li>* 「主任者部会・21世紀のあり方」中間報告書 平成11年度主任者年次大会要旨集, 1999, P. 135</li> <li>* 「主任者部会・21世紀のあり方」報告書 (平成11年11月)</li>   <li>* 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究(中間報告)」(1998)</li> <li>* 「放射線管理技術検討委員会活動報告」 Isotope News誌、10月号、P. 63(2002)</li>   <li>* 「ラジオアイソトープを用いた動物実験での文献調査－飛散率について－」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11(1998)</li> </ul>
<p>【 支部組織 】</p> <p>北海道支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成11年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成19年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成26年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・令和 4年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「北海道東方沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News誌、10月号、P. 79(1995)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (生物学)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第62～70回) ホームページ(2017～2025) (生物学)</li> <li>* 「平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会) 要旨集」(1999)</li> <li>* 「平成19年度主任者部会年次大会(第48回放射線管理研修会) 要旨集」(2007)</li> <li>* 「平成26年度放射線安全取扱部会年次大会(第55回放射線管理研修会) 要旨集」(2014)</li> <li>* 「令和 4年度放射線安全取扱部会年次大会(第63回放射線管理研修会) 要旨集」(2022)</li> </ul>
<p>東北支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 7年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成16年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成23年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成30年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「三陸はるか沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News誌、10月号、P. 74(1995)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (物理学)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第62～70回) ホームページ(2017～2025) (物理学)</li> <li>* 「平成 7年度主任者年次大会(第36回主任者研修会) 要旨集」(1995)</li> <li>* 「平成16年度主任者部会年次大会(第45回放射線管理研修会) 要旨集」(2004)</li> <li>* 「平成23年度主任者部会年次大会(第52回放射線管理研修会) 要旨集」(2011)</li> <li>* 「平成30年度放射線安全取扱部会年次大会(第59回放射線管理研修会) 要旨集」(2018)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>関東支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 種放射線取扱主任者試験問題 解答例作成委員会（～2012）</li>   <li>・平成12年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成15年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成21年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成28年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・令和 6 年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第37～57回）Isotope News誌(1992～2012)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第57～61回）Isotope News誌(2013～2016)（管理測定 技術）</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第62～63回）ホームページ(2017～2018)（管理測定技術）</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第64～70回）ホームページ(2019～2025)（実務）</li> <li>* 「平成12年度主任者年次大会（第41回主任者研修会）要 旨集」（2000）</li> <li>* 「平成15年度主任者部会年次大会（第44回放射線管理研 修会）要旨集」（2003）</li> <li>* 「平成21年度主任者部会年次大会（第50回放射線管理研 修会）要旨集」（2009）</li> <li>* 「平成28年度放射線安全取扱部会年次大会（第57回放射 線管理研修会）要旨集」（2016）</li> <li>* 「令和 6 年度放射線安全取扱部会年次大会（第65回放射 線管理研修会）要旨集」（2024）</li> </ul>
<p>中部支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 種放射線取扱主任者試験問題 解答例作成委員会（～2012）</li>   <li>・平成 5 年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成13年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成20年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成27年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・令和 5 年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第35, 49, 51～53回） Isotope News誌（1993, 2008, 2010～2012）</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第54～58回）Isotope News誌(2013～2016)（管理技術 I）</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第59～60回）ホームページ(2017～2018)（管理技術 I）</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第61～67回）ホームページ(2019～2025)（実務）</li> <li>* 「平成 5 年度主任者年次大会（第34回主任者研修会）要 旨集」（1993）</li> <li>* 「平成13年度主任者年次大会（第42回主任者研修会）要 旨集」（2001）</li> <li>* 「平成20年度主任者部会年次大会（第49回放射線管理研 修会）要旨集」（2008）</li> <li>* 「平成27年度放射線安全取扱部会年次大会（第56回放射 線管理研修会）要旨集」（2015）</li> <li>* 「令和 5 年度放射線安全取扱部会年次大会（第64回放射 線管理研修会）要旨集」（2023）</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>近畿支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 種放射線取扱主任者試験問題 解答例作成委員会（～2012）</li> <li>・ 平成 6 年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成14年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成22年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成29年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・ 令和 7 年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「阪神・淡路大震災の被災施設状況調査および救援活動 報告」 Isotope News誌、4～8月号(1995)</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第34, 36～53回) Isotope News誌(1992, 1994～2012)</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第54～58回) Isotope News誌(2013～2016) (法令、管 理技術Ⅱ)</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第59～60回) ホームページ (2017～2018) (法令、管理 技術Ⅱ)</li> <li>* 「第 2 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第61～66回) ホームページ(2019～2024) (法令、物理 学・化学・生物学)</li> <li>* 「平成 6 年度主任者年次大会（第35回主任者研修会）要 旨集」(1994)</li> <li>* 「平成14年度主任者年次大会（第43回主任者研修会）要 旨集」(2002)</li> <li>* 「平成22年度主任者部会年次大会（第51回放射線管理研 修会）要旨集」(2010)</li> <li>* 「平成29年度放射線安全取扱部会年次大会（第58回放射 線管理研修会）要旨集」(2017)</li> <li>* 「令和 7 年度放射線安全取扱部会年次大会（第66回放射 線管理研修会）要旨集」(2025)</li> </ul>
<p>中国・四国支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 9 年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成17年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成24年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・ 令和元年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (法令)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第62～63回) ホームページ(2017～2018) (法令)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第64～70回) ホームページ(2019～2025) (法令)</li> <li>* 「平成 9 年度主任者年次大会（第38回主任者研修会）要 旨集」(1997)</li> <li>* 「平成17年度主任者部会年次大会（第46回放射線管理研 修会）要旨集」(2005)</li> <li>* 「平成24年度放射線安全取扱部会年次大会（第53回放射 線管理研修会）要旨集」(2012)</li> <li>* 「令和元年度放射線安全取扱部会年次大会（第60回放射 線管理研修会）要旨集」(2019)</li> </ul>
<p>九州支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成10年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成18年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・ 平成25年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> <li>・ 令和 3 年度放射線安全取扱部会年次大会 実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (化学)</li> <li>* 「第 1 種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第62～70回) ホームページ(2017～2025) (化学)</li> <li>* 「平成10年度主任者年次大会（第39回主任者研修会）要 旨集」(1998)</li> <li>* 「平成18年度主任者部会年次大会（第47回放射線管理研 修会）要旨集」(2006)</li> <li>* 「平成25年度放射線安全取扱部会年次大会（第54回放射 線管理研修会）要旨集」(2013)</li> <li>* 「令和 3 年度放射線安全取扱部会年次大会（第62回放射 線管理研修会）要旨集」(2021)</li> </ul>

## 事務局組織

### 総務部

総務課 TEL (03)5395-8021 FAX (03)5395-8051

- ・協会の組織全体の事務について
- ・ホームページについて

### 学術振興部

学術課 TEL (03)5395-8081、(03)5395-8082 FAX (03)5395-8053

- ・理工・ライフサイエンス部会、医学・薬学部会、放射線安全取扱部会事務局
- ・アイソトープ・放射線研究発表会事務局
- ・放射線取扱主任者定期講習【原子力規制委員会登録】

研修課 TEL (03)5395-8083 FAX (03)5395-8053

- ・第1種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第2種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第3種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第1種作業環境測定士（放射性物質）講習【東京労働局登録】
- ・アイソトープ基礎技術入門講習
- ・その他講習会の事務窓口

教育・出版課 TEL (03)5395-8035 FAX (03)5395-8053

- ・Isotope News誌の編集・発行
- ・RADIOISOTOPES誌の編集・発行
- ・書籍（DVD含む）の編集・発行
- ・輸送標識の頒布
- ・放射線業務従事者のための教育訓練講習会・講師派遣
- ・日本アイソトープ協会奨励賞の事務窓口

### 医薬品部

医薬品・試薬課 TEL (03)5395-8034 FAX (03)5395-8056

- ・放射性医薬品の購入等について
- ・放射性医薬品の安全管理に関する情報提供、相談
- ・放射性試薬（標識化合物・精製RI）の購入等について

滝沢研究所 TEL (019)688-1811 FAX (019)688-1813

- ・RI利用、医学利用展示（武見記念館）